

景気動向調査結果

(令和4年4月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 4 年 4 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 4 年 5 月にヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、444 社（製造業 239 社（うちヒアリング 62 社）、非製造業 205 社）で、回答率は 63.4 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部経営・創業支援課（TEL 026-232-0111 内線 2961）

令和4年4月の景気動向

1 総論

個人消費は回復基調にあるものの、持ち直しの動きに弱さがみられます。先行きについては、原油・原材料価格の高騰や供給制約の影響の長期化等が懸念されます。

製造業の業況は、供給制約や原油・原材料価格高騰の影響がみられるものの、海外経済の改善もあって、電機・電子、機械及び精密などで受注、生産が堅調に推移していることから、5期連続のプラス水準となりました。

非製造業の業況は、建設業などで原油・原材料価格高騰の影響などにより悪化したものの、飲食業や宿泊業が、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に悪化した前年より改善し、全体では4期ぶりのプラス水準となりました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（令和3年4月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は16.9となり、前回調査時（令和4年1月）の37.1から20.2ポイント悪化しました。

3か月前（令和4年1月）と比較したD Iは▲1.7となり、前回調査時の▲3.4より1.7ポイント改善したものの、2期連続のマイナス水準となりました。

また、3か月後（令和4年7月）の予想では、D Iは▲9.4となり、5期ぶりのマイナス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。プリンターは、在宅需要が継続しており、受注は順調に推移しているものの、供給制約の影響により、生産に足踏みがみられます。半導体関連は、国内外の半導体需要の高まりにより、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が増加しています。抵抗器・コンデンサ等は、国内外の需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産に増加がみられます。

イ 一般機械では、工作機械は、供給制約の影響を受けているものの、半導体市場の活況により、半導体関連向けで受注、生産に増加がみられるほか、自動車関連では、国内向け、海外向けともに、受注、生産が堅調に推移しています。建設機械は、国内向けでは、受注、生産に持ち直しの動きがみられるほか、北米や欧州など海外向けでは、需要の回復により、受注、生産が堅調に推移しています。

ウ 精密では、時計は、外出機会の減少が続いており、国内の需要が低迷しているものの、北米や欧州など海外向けの需要の増加により、受注、生産に回復がみられます。レンズは、自動車関連向けで自動車減産の影響を受け、受注、生産が弱含んでいるものの、通信機器向け等で需要の増加により、受注、生産が順調に推移しています。圧力計は、半導体関連向けを中心に、受注、生産が順調に推移しています。LPガスマーターは、取替需要のピークが過ぎたことから、受注、生産が減少しています。

エ 自動車部品では、供給制約に伴う完成車メーカーの減産により、国内向け、海外向けともに、受注、生産に足踏みがみられます。

オ 食料品では、味そは、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が増加しています。酒類は、清酒やワインは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた昨年と比べて、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。飲料は、季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しています。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が43.9%と前回(57.2%)より減少し、「減少」とする企業が22.4%と前回(17.8%)より増加した結果、D Iは前回(39.4)より悪化し、21.5となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が26.2%と前回(23.1%)より増加し、「減少」とする企業が16.9%と前回(26.1%)より減少した結果、D Iは前回(△3.0)より改善し、9.3となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が13.7%、「減少」とする企業が21.0%となった結果、D Iは△7.3となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が43.9%と前回(53.0%)より減少し、「減少」とする企業が25.3%と前回(21.2%)より増加した結果、D Iは前回(31.8)より悪化し、18.6となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が28.6%と前回(22.2%)より増加し、「減少」とする企業が21.4%と前回(25.6%)より減少した結果、D Iは前回(△3.4)より改善し、7.2となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が14.4%、「減少」とする企業が22.7%となった結果、D Iは△8.3となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が34.0%と前回(26.3%)より増加し、「安い」とする企業が3.8%と前回(5.5%)より減少した結果、D Iは前回(20.8)より改善し、30.2となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が21.5%と前回(14.5%)より増加し、「安い」とする企業が3.0%と前回(3.8%)より減少した結果、D Iは前回(10.7)より改善し、18.5となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が27.4%、「安い」とする企業が3.5%となった結果、D Iは23.9となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が12.6%と前回(16.7%)より減少し、「苦しい」とする企業が13.4%と前回(12.3%)より増加した結果、D Iは前回(4.4)より悪化し、△0.8となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が7.4%と前回(8.0%)よりやや減少し、「苦しい」とする企業が8.3%と前回(13.8%)より減少した結果、D Iは前回(△5.8)より改善し、△0.9となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が4.0%、「苦しい」とする企業が11.0%となった結果、D Iは△7.0となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が20.7%と前回(30.6%)より減少し、「低下」とする企業が40.9%と前回(32.8%)より増加した結果、D Iは前回(△2.2)より悪化し、△20.2となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が11.9%と前回(11.2%)よりやや増加し、「低下」とする企業が32.6%と前回(34.1%)より減少した結果、D Iは前回(△22.9)より改善し、△20.7となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が3.9%、「低下」とする企業が36.9%となった結果、D Iは△33.0となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。プリンターは、在宅需要が継続しており、受注は順調に推移しているものの、供給制約の影響により、生産に足踏みがみられます。

(半導体関連・プリント基板) 国内外の半導体需要の高まりにより、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が増加しています。

(抵抗器・コンデンサ等) 国内外の需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が増加がみられます。

(モーター等) 航空機向けは、旅客を見込んだ需要の増加により、受注、生産が持ち直しています。産業用途、自動車関連向けは、国内外の需要の増加により、受注、生産が順調に推移しています。

(その他) カーナビゲーションは、自動車減産の影響や供給制約を受け、受注、生産は弱含んでいます。

一般機械

(工作機械) 供給制約の影響を受けているものの、半導体市場の活況により、半導体関連向けで、受注、生産が増加がみられるほか、自動車関連では、国内向け、海外向けともに、受注、生産が堅調に推移しています。

(金型) 自動車関連向けで、減産の影響により、受注、生産に一服感がみられます。

(建設機械) 国内向けでは、受注、生産に持ち直しの動きがみられるほか、北米や欧州など海外向けでは、需要の回復により、受注、生産が堅調に推移しています。

(農業用機械等) 季節的要因による国内需要の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。

<p>精 密 (時 計)</p>	<p>腕時計は、外出機会の減少が続いており、国内の需要が低迷しているものの、北米や欧州など海外の需要の増加により、受注、生産に回復がみられます。</p>
<p>(レ ン ズ)</p>	<p>自動車関連向けで、自動車減産の影響を受け、受注、生産が弱含んでいるものの、通信機器向け等は、需要の増加により、受注、生産が順調に推移しています。</p>
<p>(計 器)</p>	<p>圧力計は、半導体関連向けを中心に、受注、生産が順調に推移しています。LPガスメーターは、取替需要のピークを過ぎたことから、受注、生産が減少しています。</p>
<p>自 動 車 部 品</p>	<p>自動車部品では、供給制約に伴う完成車メーカーの減産により、国内向け、海外向けともに、受注、生産に足踏みがみられます。</p>
<p>食 料 品 (味 そ)</p>	<p>季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が増加しています。</p>
<p>(酒 類)</p>	<p>清酒やワインは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた去年と比べて、受注、生産に持ち直しの動きがみられません。</p>
<p>(飲 料)</p>	<p>飲料は、季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しています。</p>
<p>繊 維 ・ 衣 服</p>	<p>季節的要因により、受注、生産が増加しています。</p>
<p>紙 ・ パルプ</p>	<p>ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が増加しています。</p>
<p>印 刷</p>	<p>印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで受注、生産に持ち直しがみられます。</p>

3 非製造業

業界の業況

前年同期（令和3年4月）と比較したD Iは1.0となり、前回調査時（令和4年1月）の $\Delta 9.4$ より10.4ポイント改善し、4期ぶりのプラス水準となりました。

3か月前（令和4年1月）と比較したD Iは2.2となり、前回調査時の $\Delta 36.7$ より38.9ポイント改善しました。

また、3か月後（令和4年7月）の予想では、D Iは $\Delta 13.6$ となりました。

【各業種の動き】

ア 建設業

建設業では、公共工事の工事量は前年並みの水準だったものの、民間工事は企業の設備投資に慎重な姿勢がみられ、受注件数D I、売上高D Iが悪化したほか、資材価格等のコスト上昇が続くなど、業況D Iは $\Delta 35.4$ と前回（ $\Delta 27.3$ ）より悪化し、5期連続の悪化となりました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 26.7$ です。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、企業のシステム投資などに対する需要は底堅いものの、半導体不足の影響に伴いハードウェア関連機器などの入荷遅れが生じたほか、エネルギーコストの上昇により、売上高D I、収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは0.0と前回（9.1）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、0.0です。

ウ 小売業

小売業では、まん延防止等重点措置が解除され客数D Iが改善したほか、底堅い内食需要や値上げの動きもあり、売上高D Iが改善したことから、業況D Iは $\Delta 15.1$ と前回（ $\Delta 26.7$ ）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 23.3$ です。

エ 卸売業

卸売業では、メーカーの資材不足による影響で納期が遅延したほか、仕入価格上昇などによりコストが増加し、客数D I、収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは13.6と前回（19.1）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 10.6$ です。

オ 飲食業

飲食業では、新型コロナウイルス感染症再拡大に伴うまん延防止等重点措置が解除されたことで、客数が増加したほか、仕入価格上昇の価格転嫁が一部で進み、客数D I、収益率D Iが改善したことから、業況D Iは65.3と前回（11.8）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、38.1です。

カ 宿泊業

宿泊業では、善光寺御開帳や「信州割 SPECIAL」などによる効果で客数が増加したものの、食材価格やエネルギーコストの上昇に伴い、収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは73.3と高水準ながらも前回（78.6）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、0.0です。

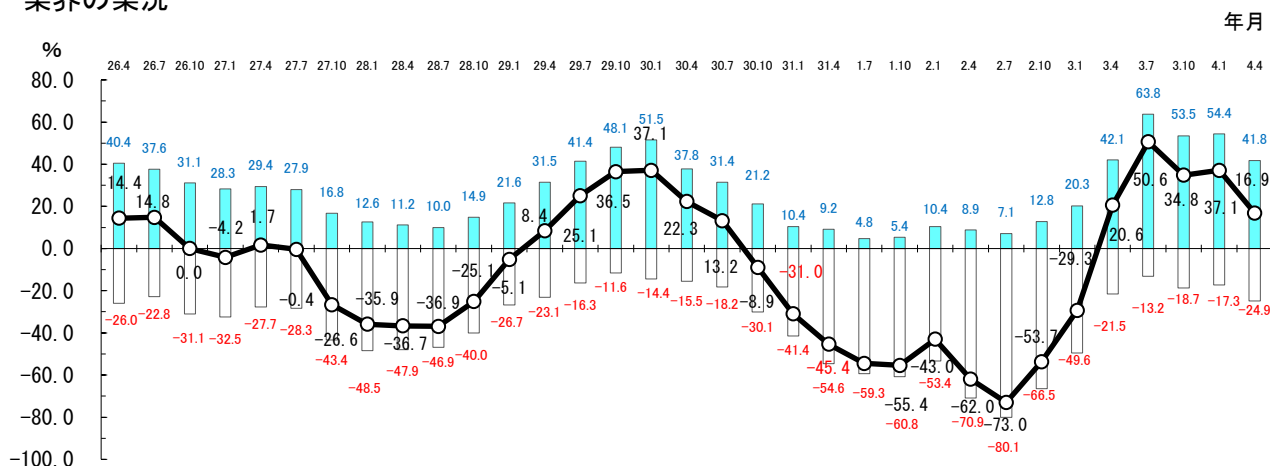
景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

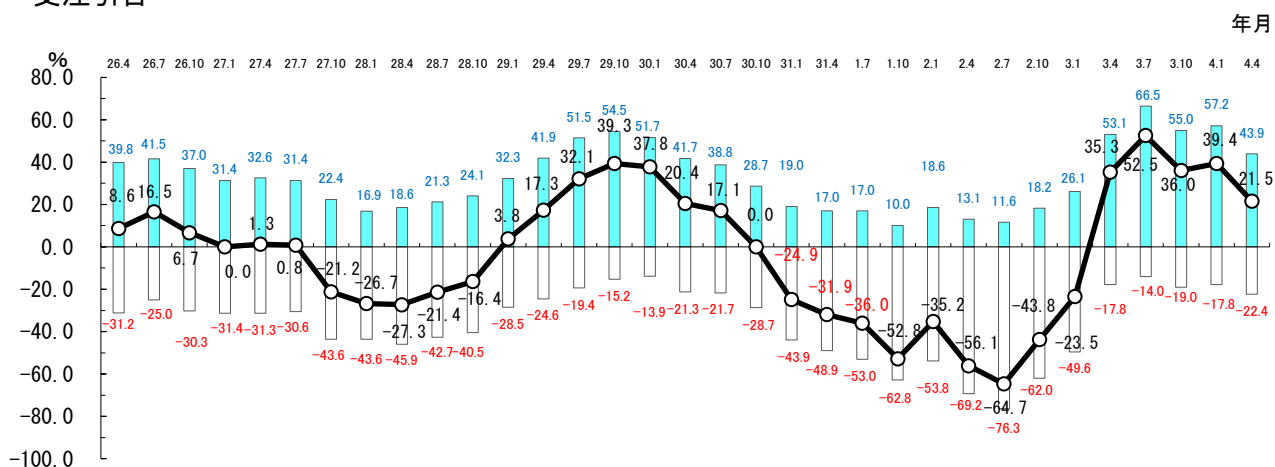
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

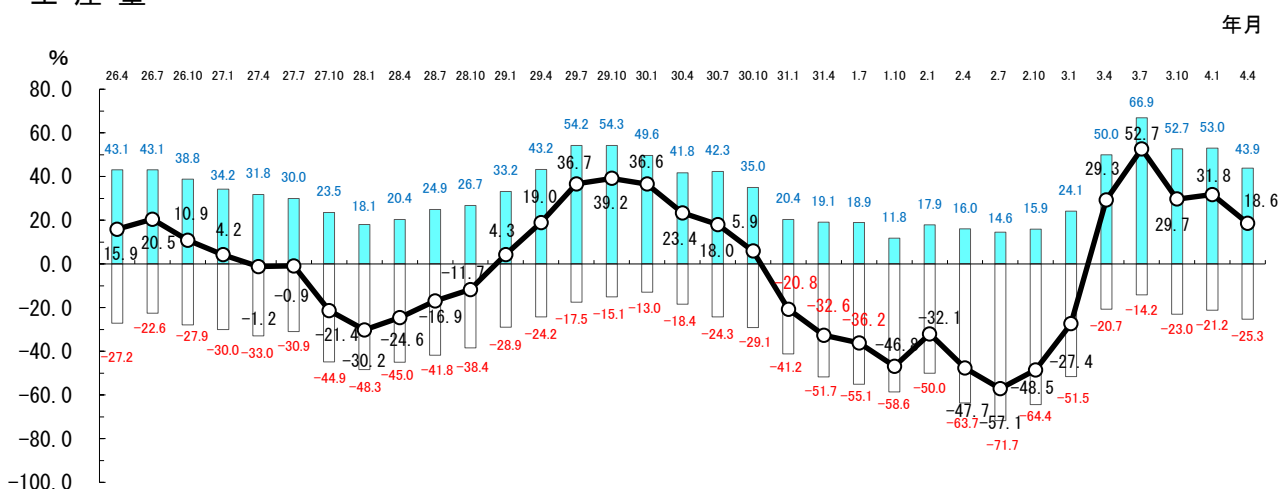
業界の業況



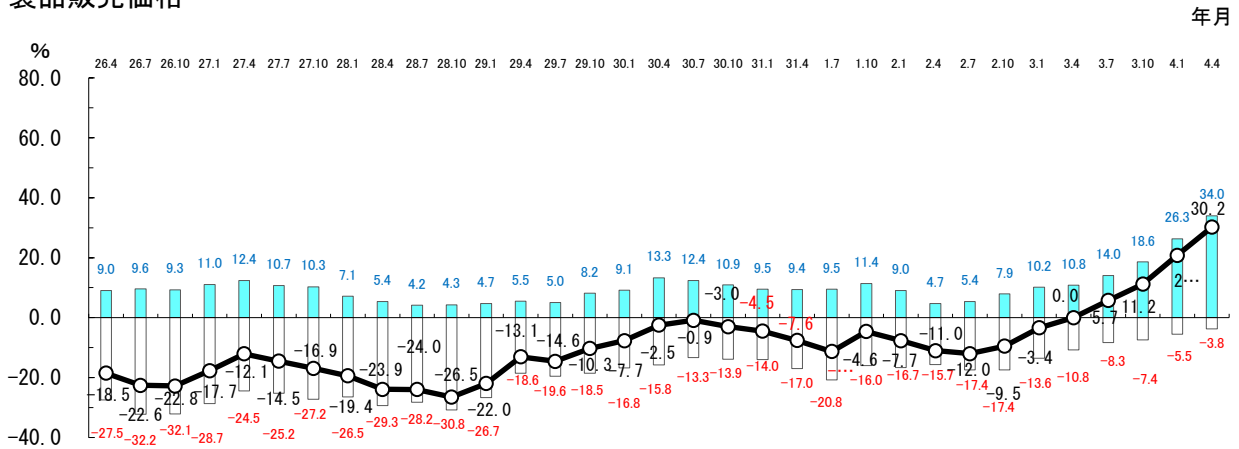
受注引合



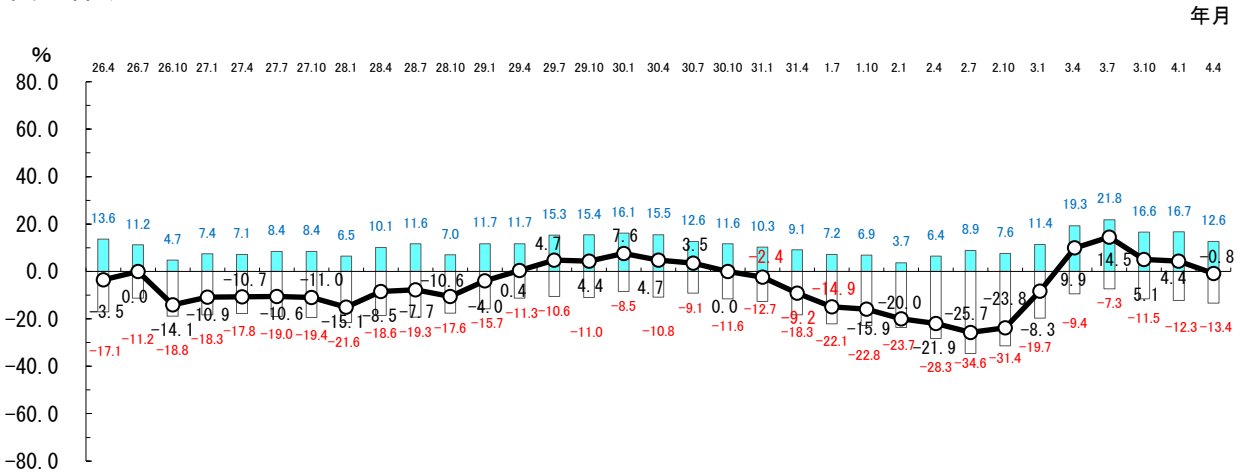
生産量



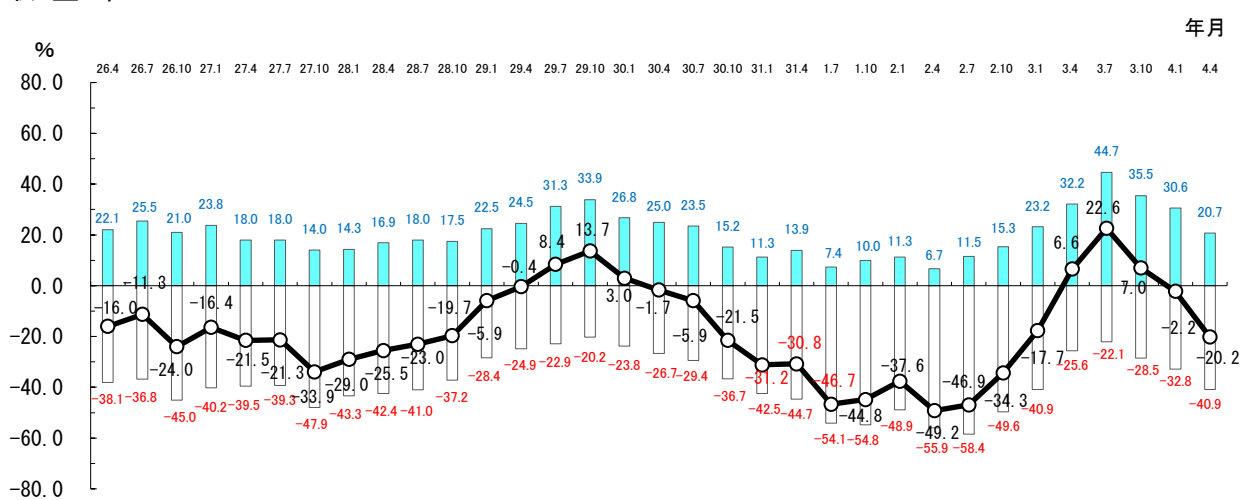
製品販売価格



資金繰り

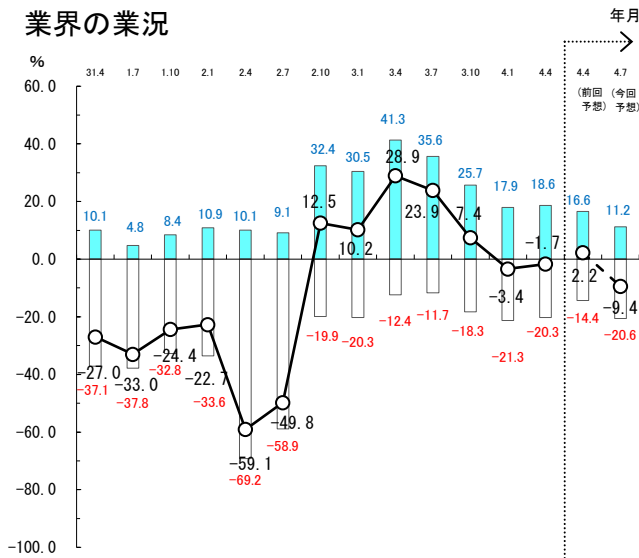


収益率

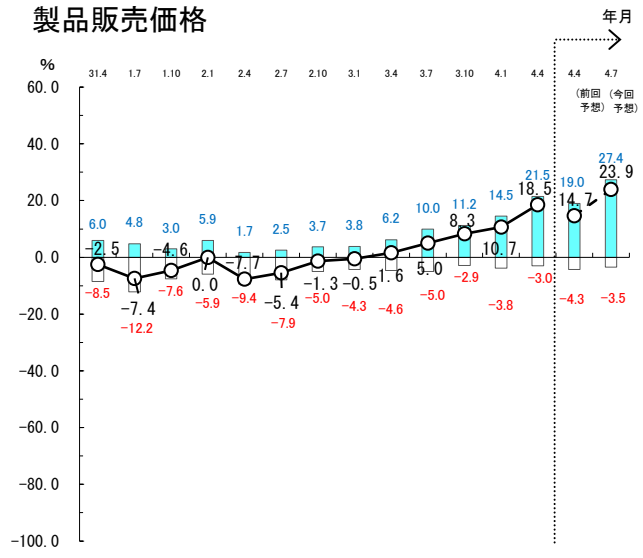


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

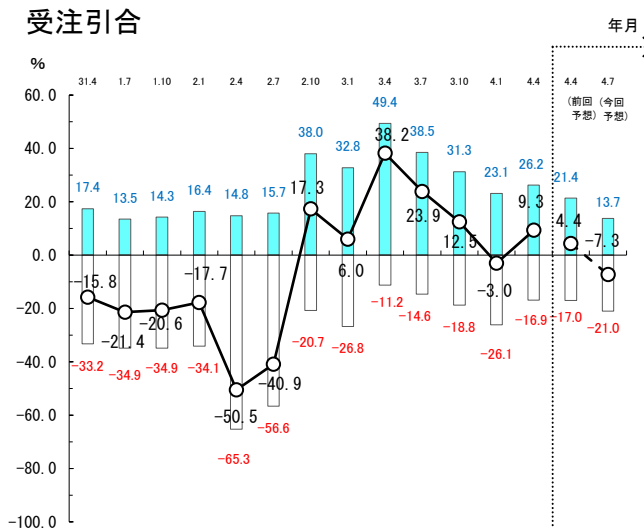
業界の業況



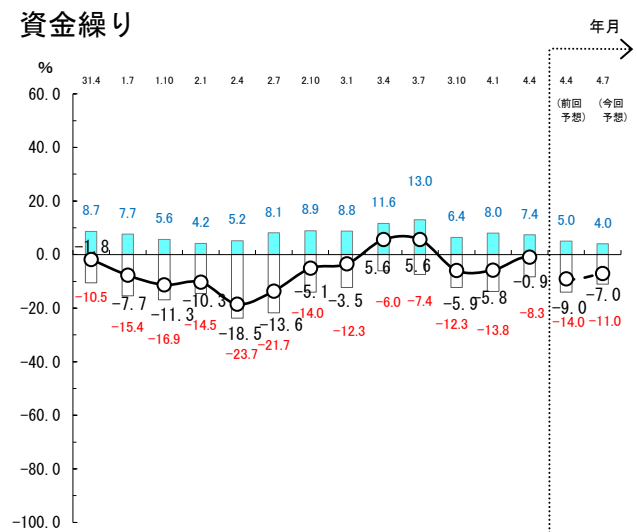
製品販売価格



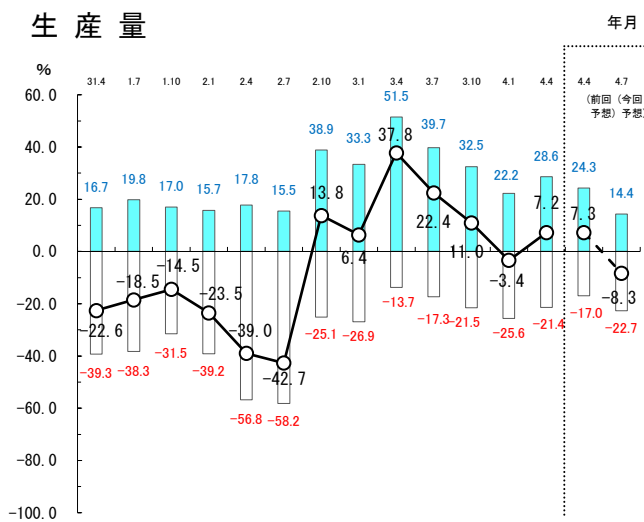
受注引合



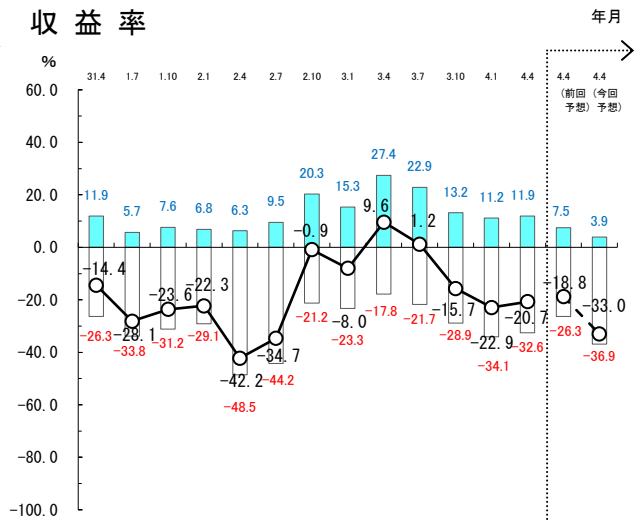
資金繰り



生産量



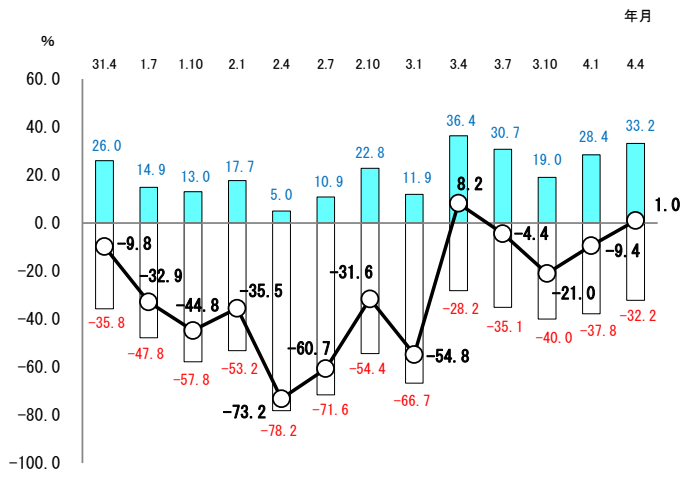
収益率



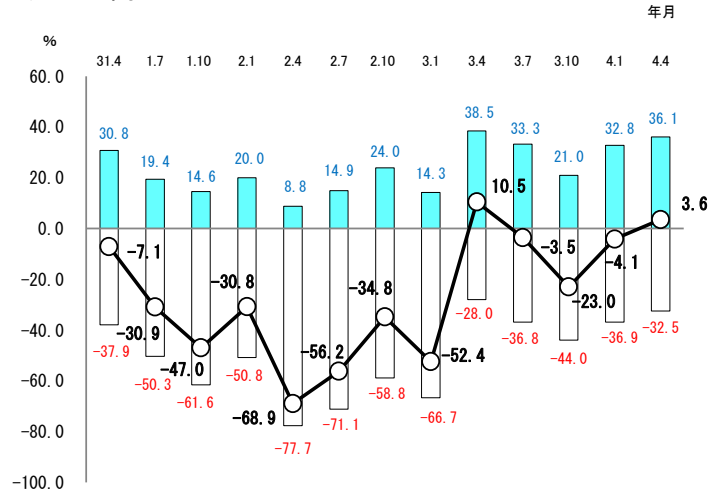
2 非製造業

(1) 前年同期に比べて 非製造業全体

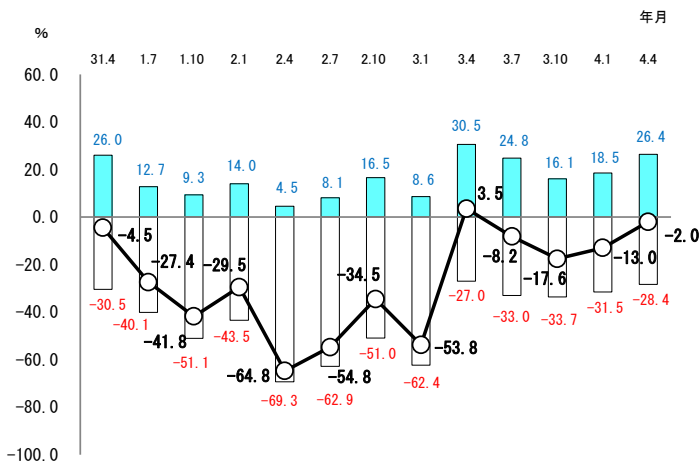
業況



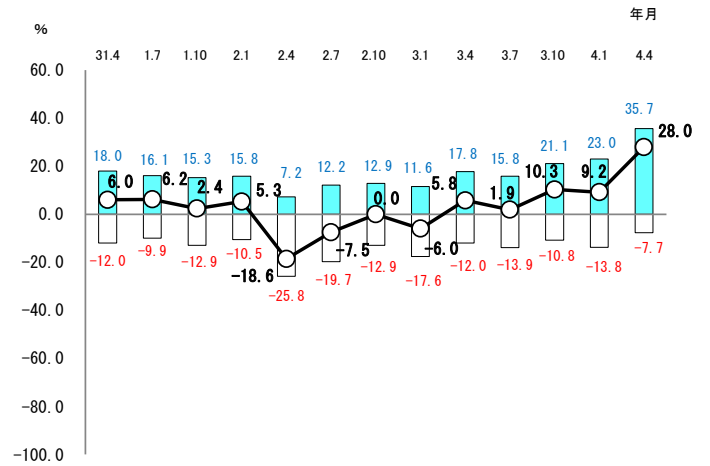
売上高



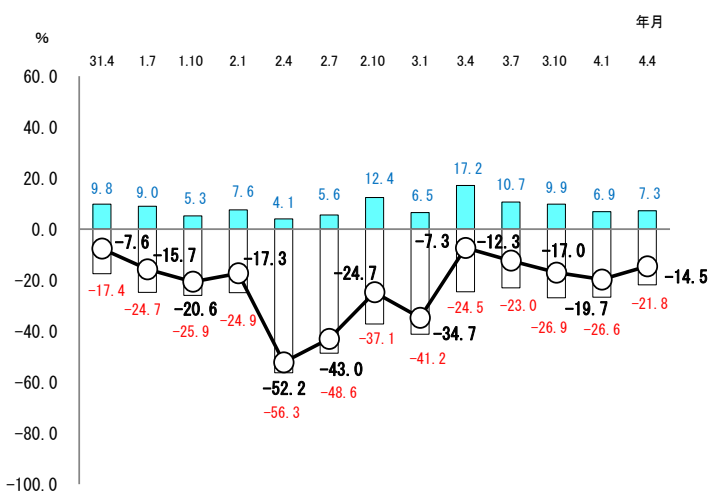
客数 (受注件数・取引先数)



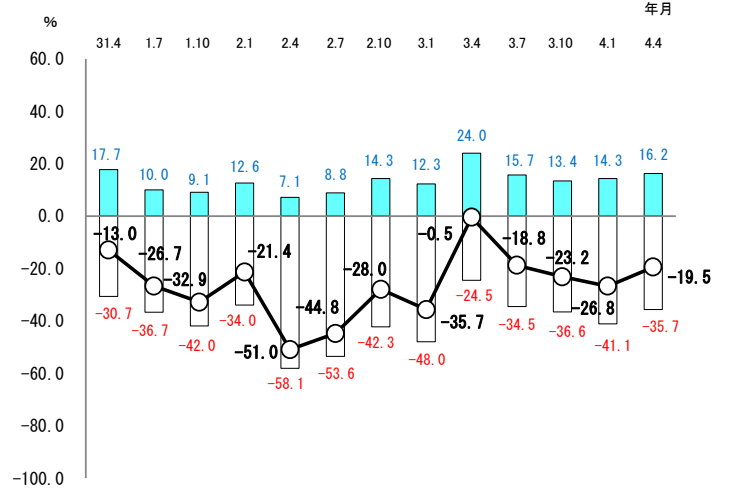
販売価格



資金繰り

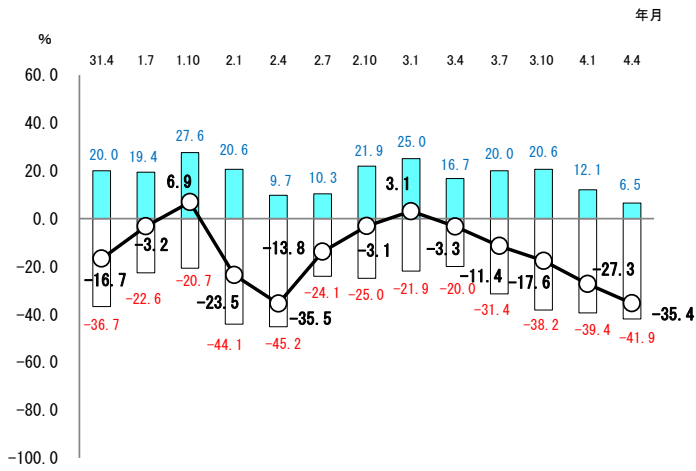


収益率

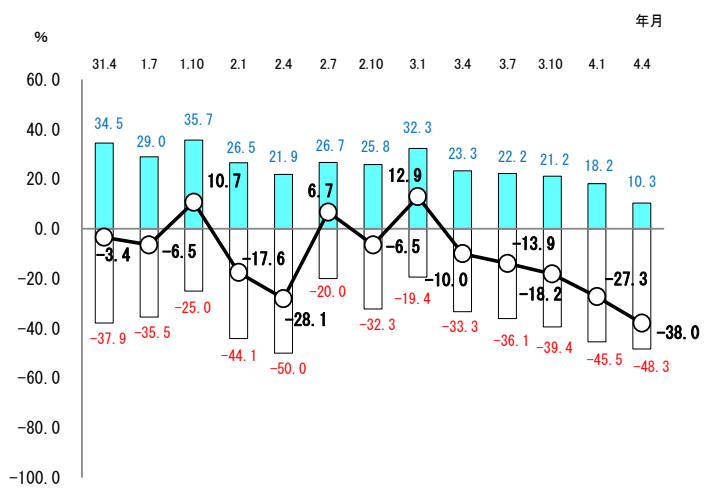


ア 建設業

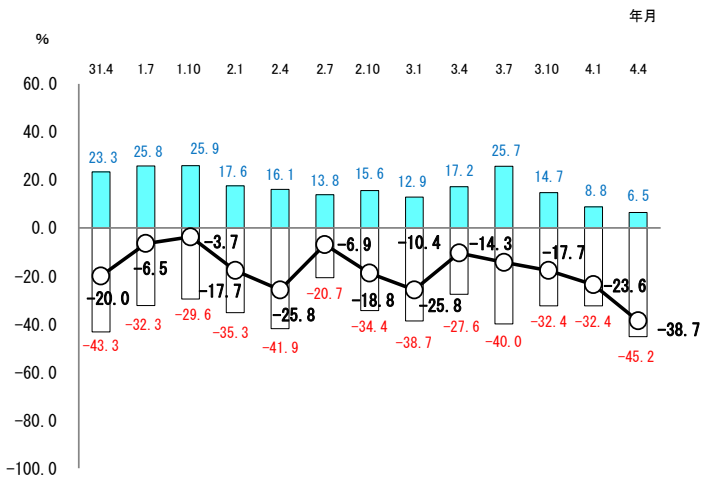
業況



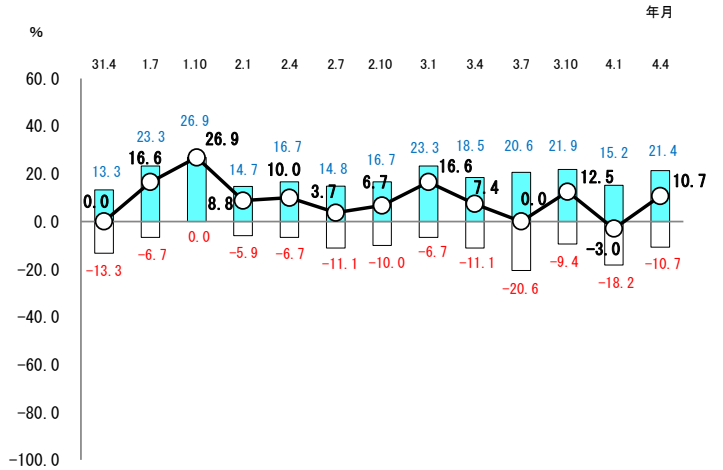
売上高



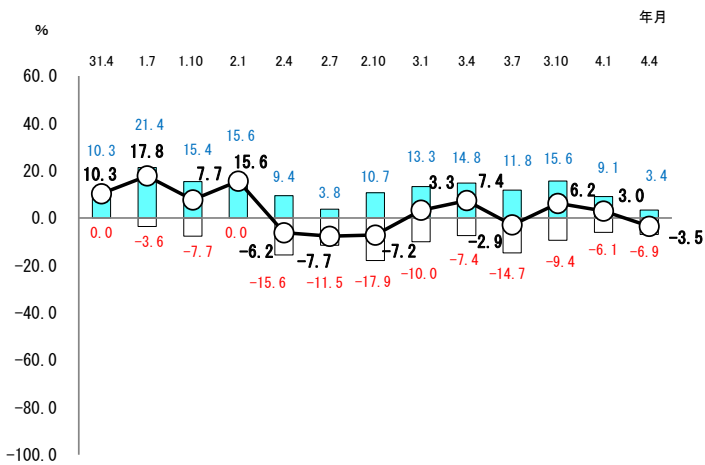
客数 (受注件数)



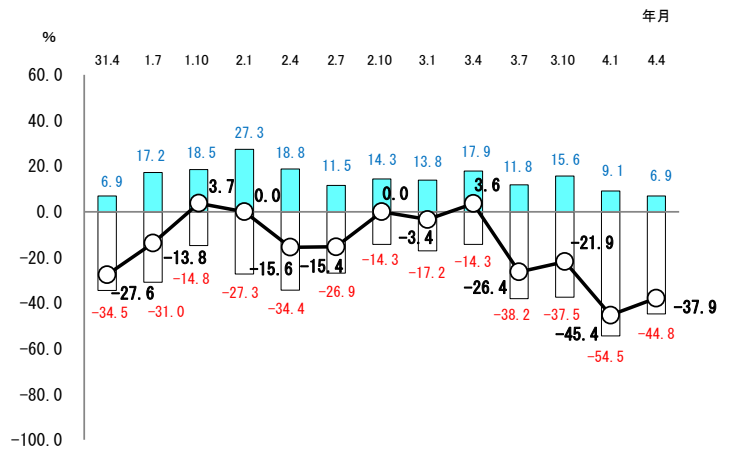
販売価格



資金繰り

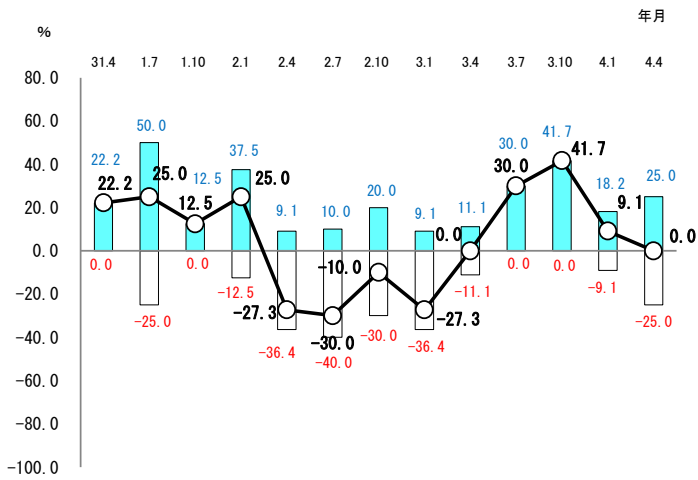


収益率

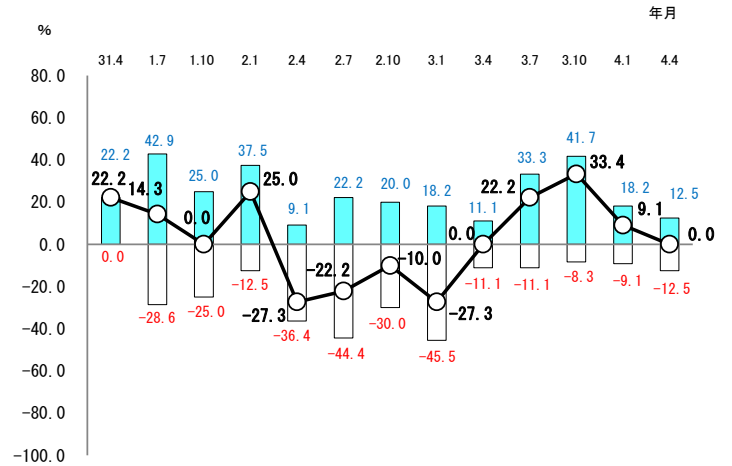


イ 情報サービス業

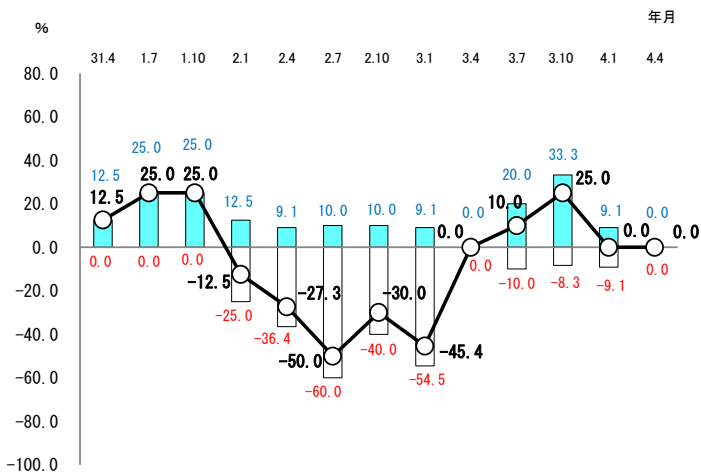
業況



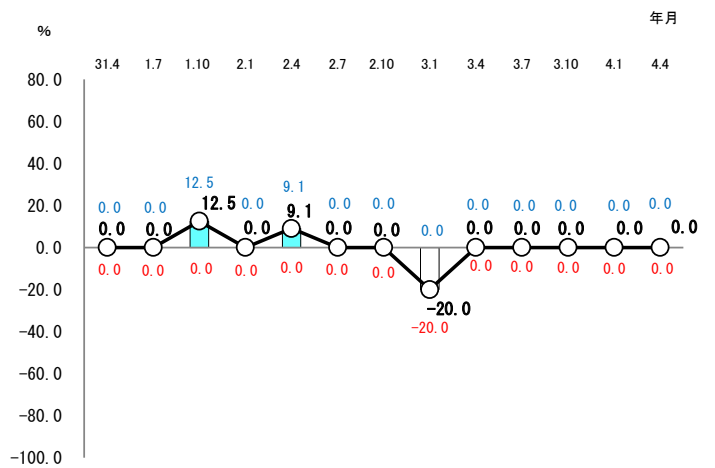
売上高



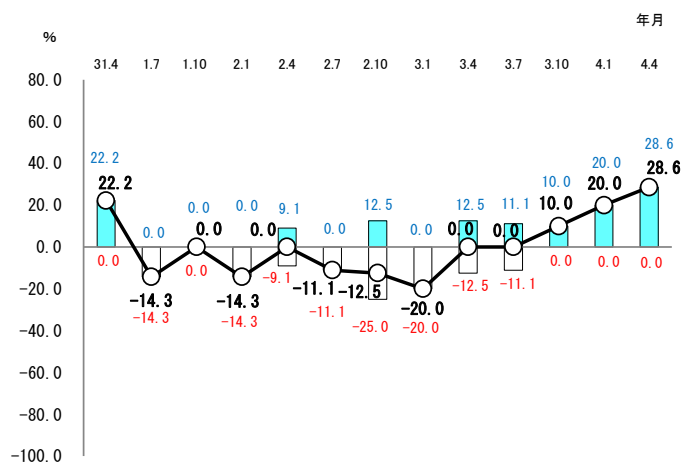
客数 (受注件数)



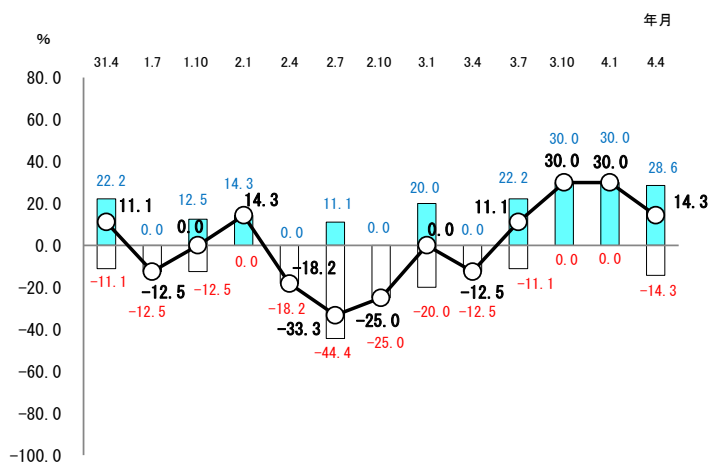
販売価格



資金繰り

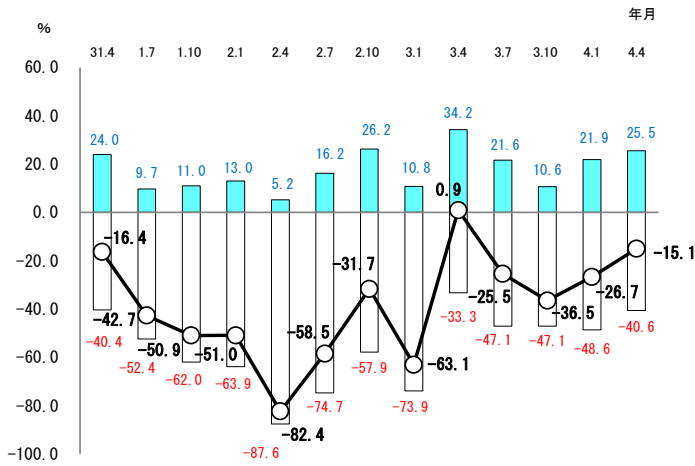


収益率

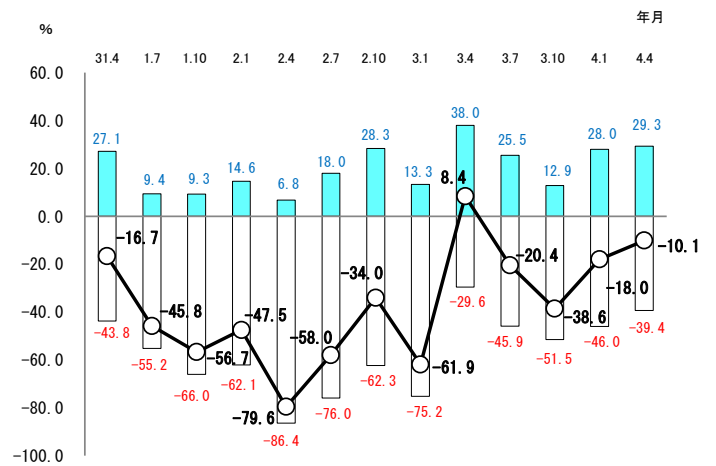


ウ 小売業

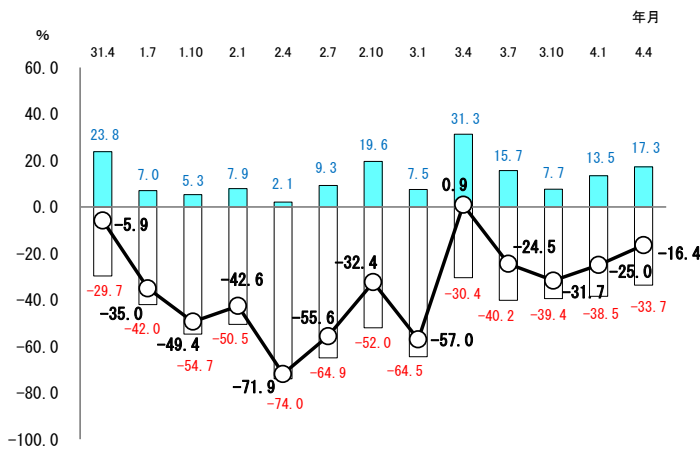
業況



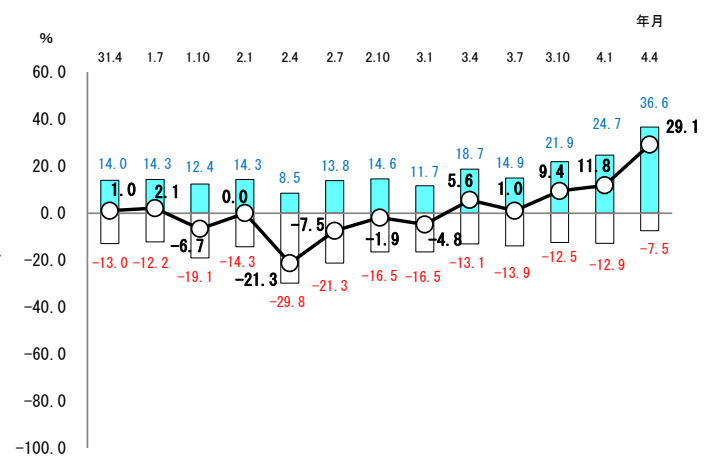
売上高



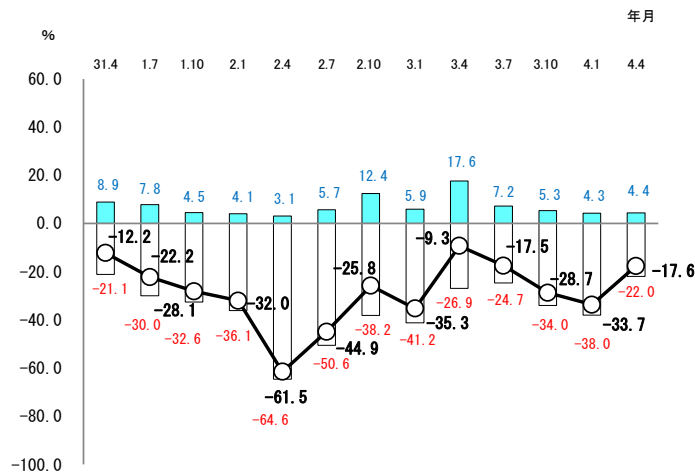
客数



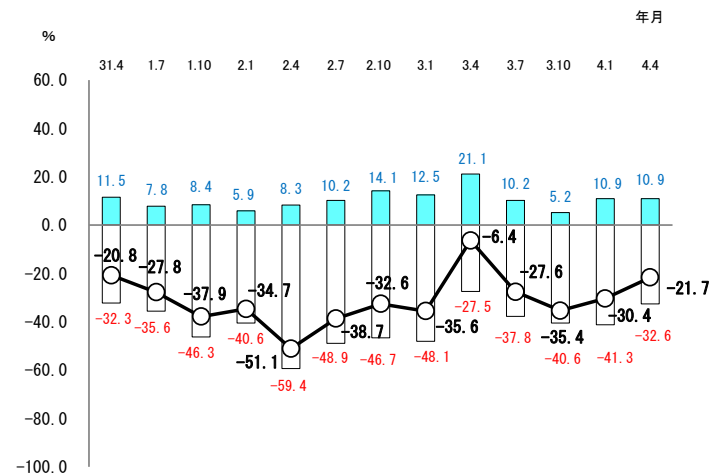
販売価格



資金繰り

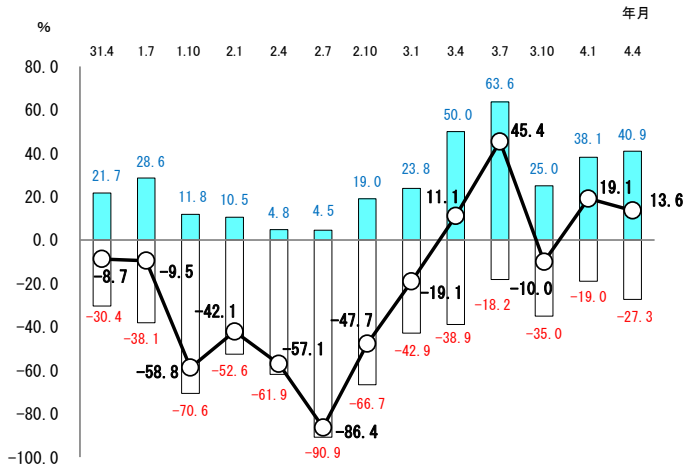


収益率

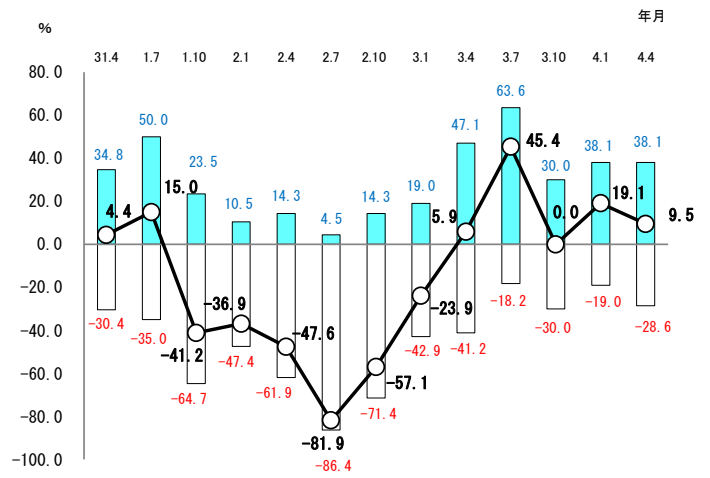


工 卸売業

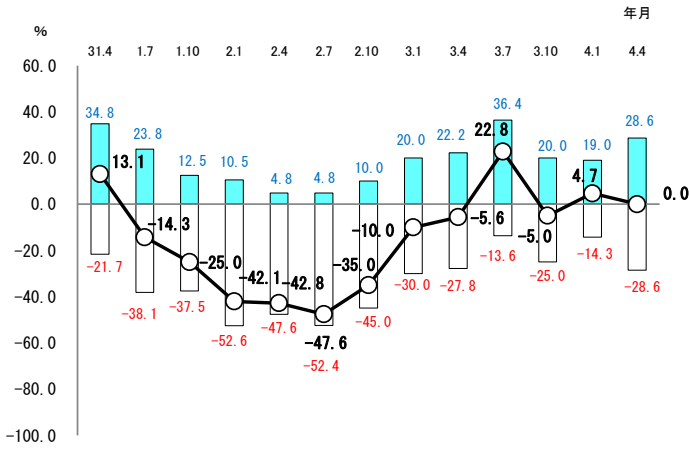
業況



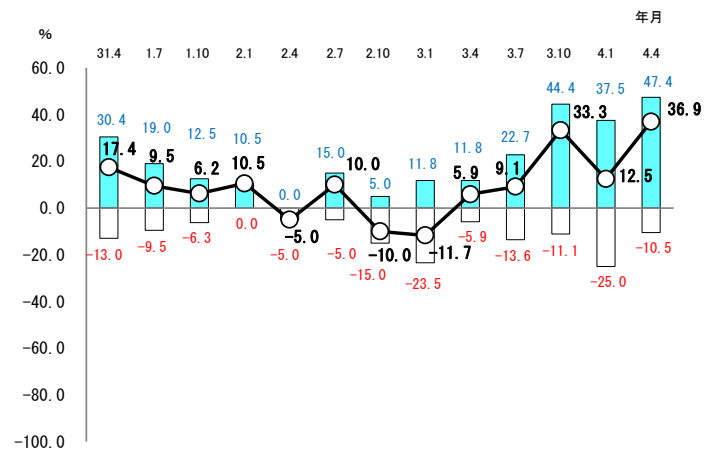
売上高



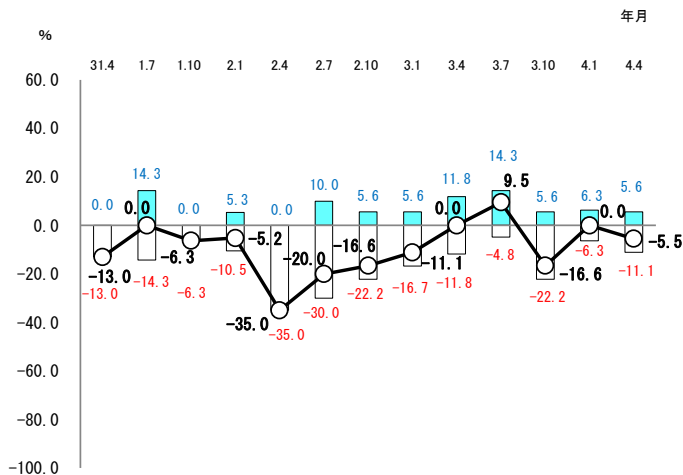
客数 (取引先数)



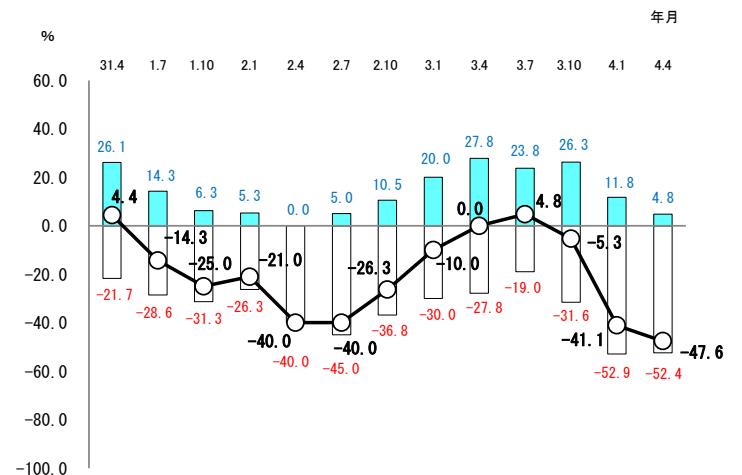
販売価格



資金繰り

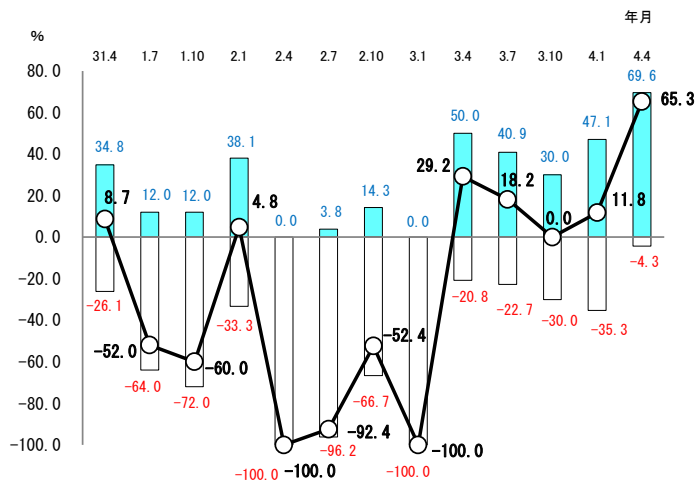


収益率

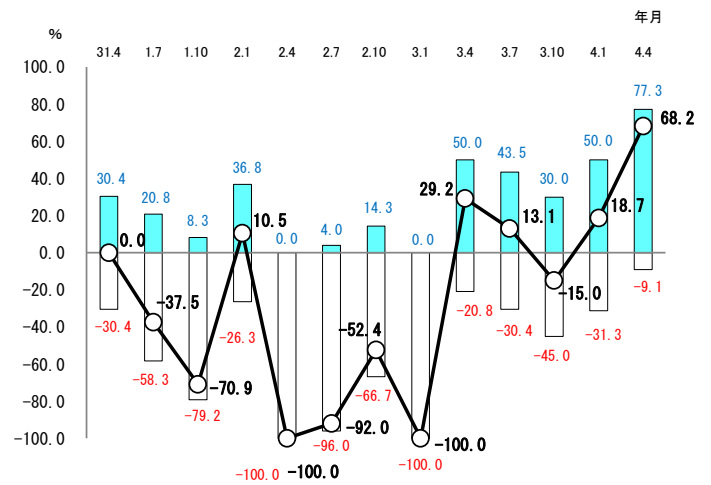


才 飲食業

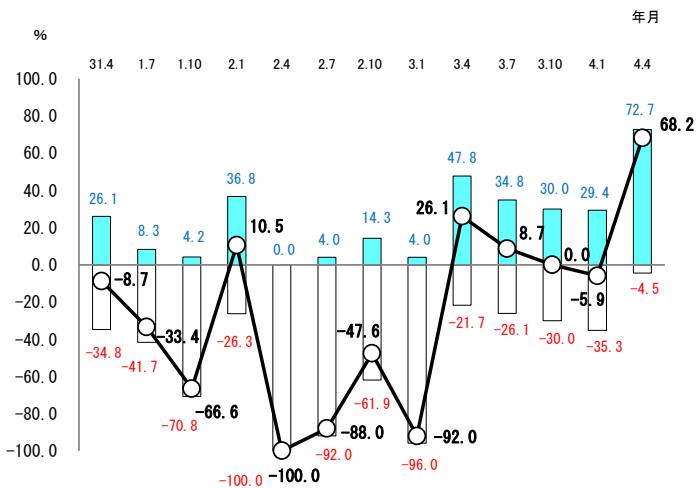
業況



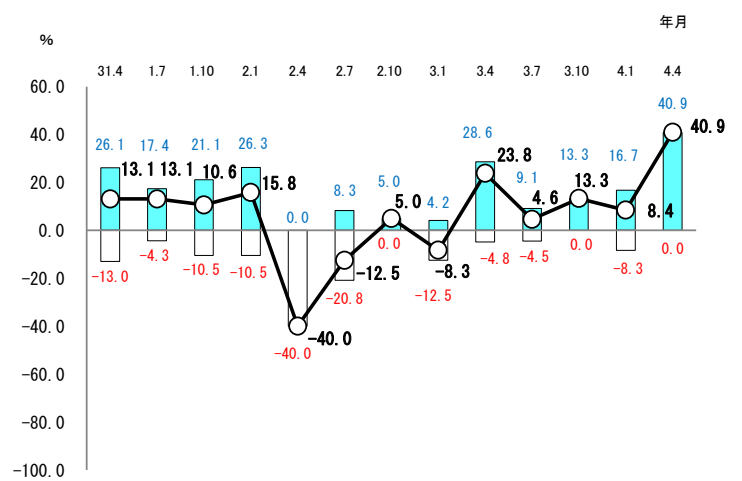
売上高



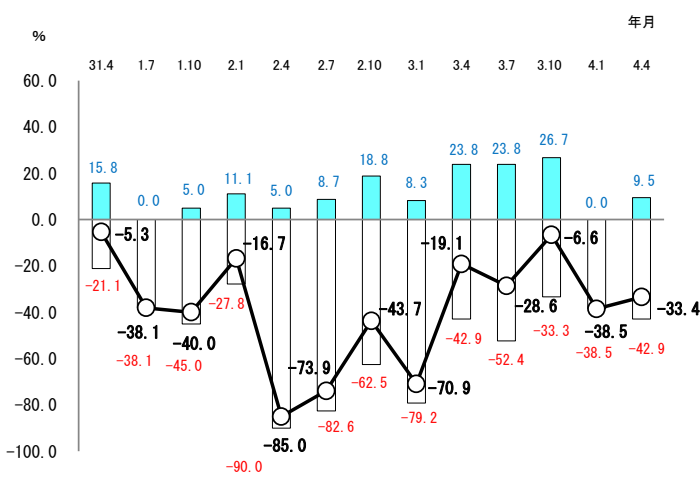
客数



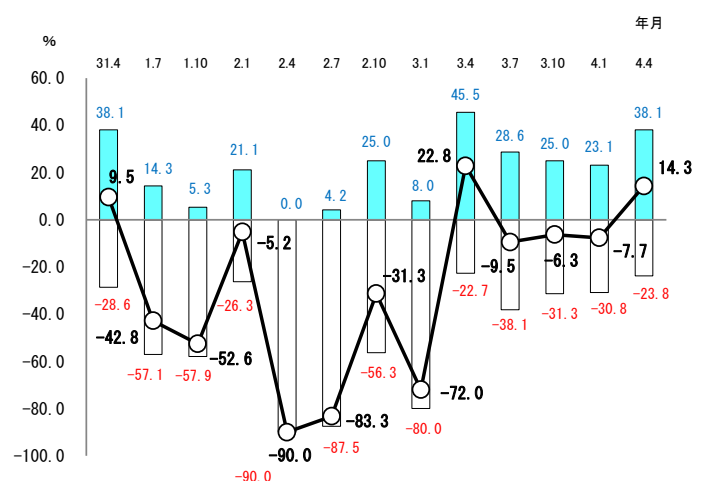
販売価格



資金繰り

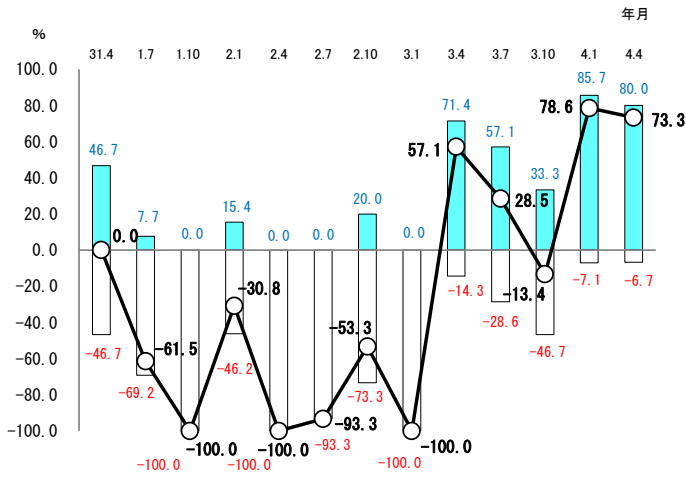


収益率

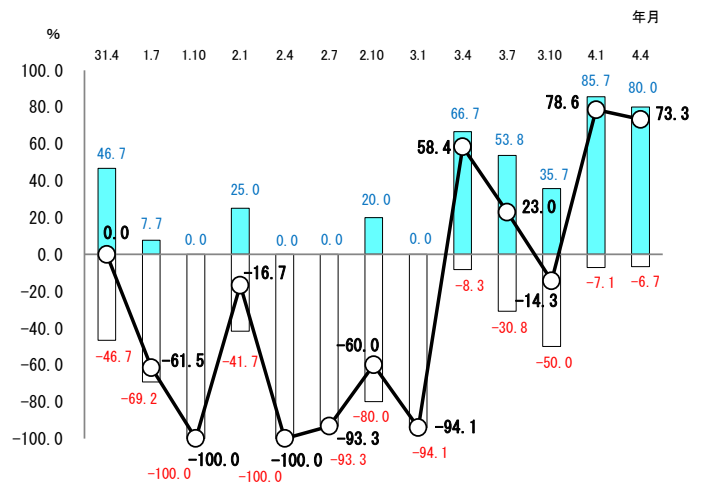


力 宿泊業

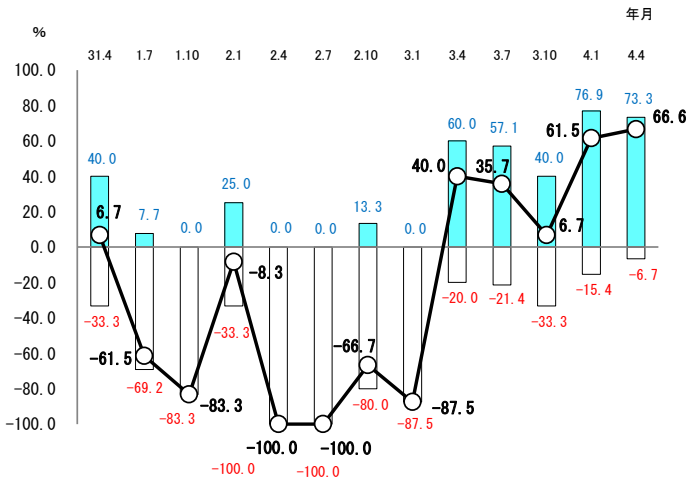
業況



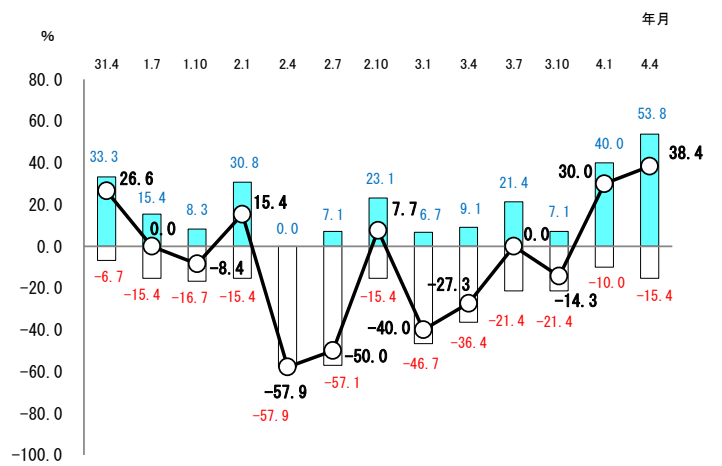
売上高



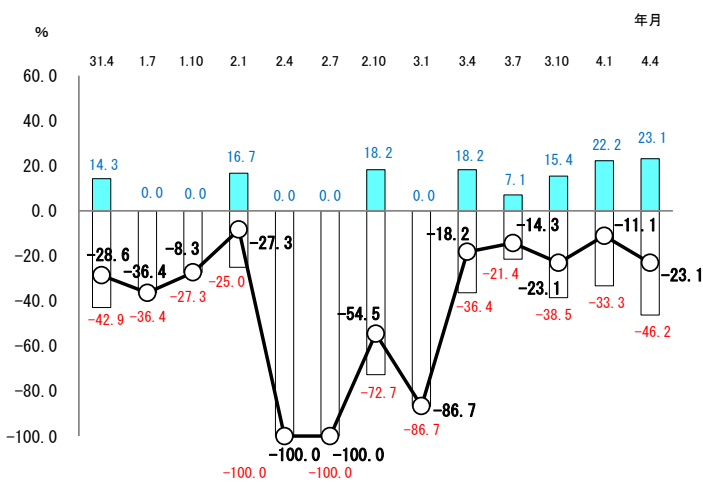
客数



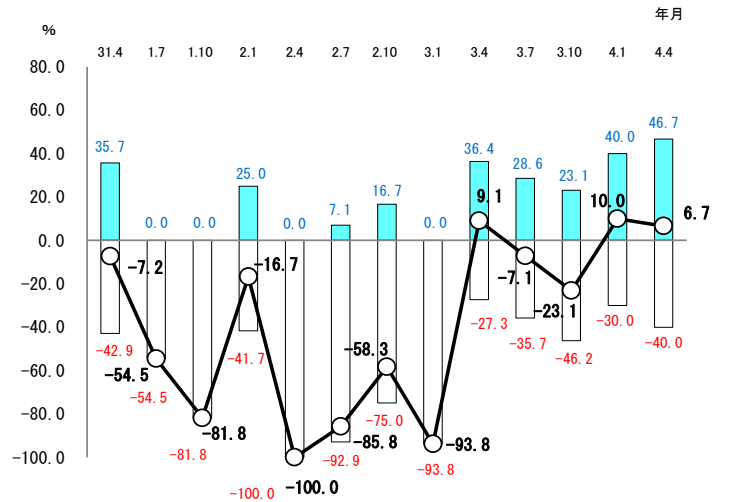
販売価格



資金繰り

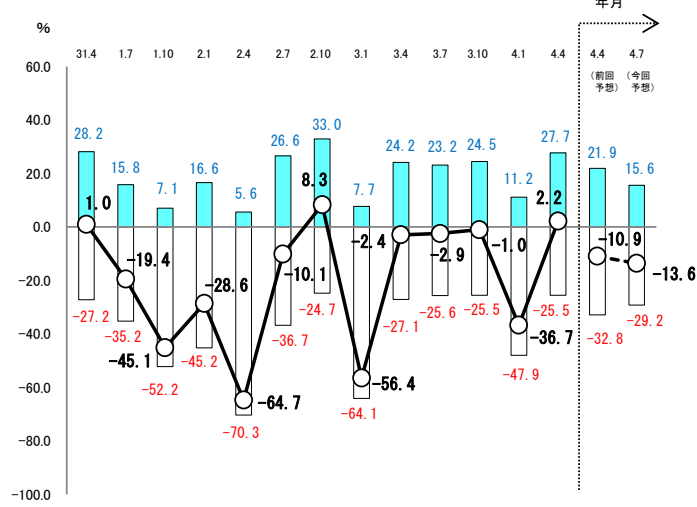


収益率

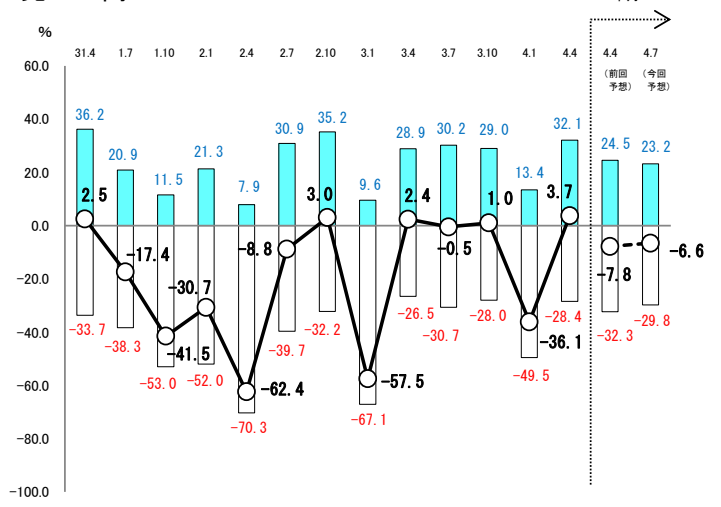


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想
非製造業全体

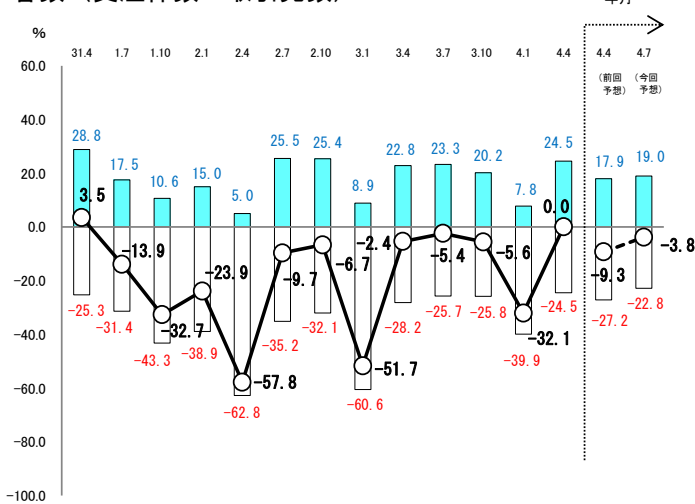
業況



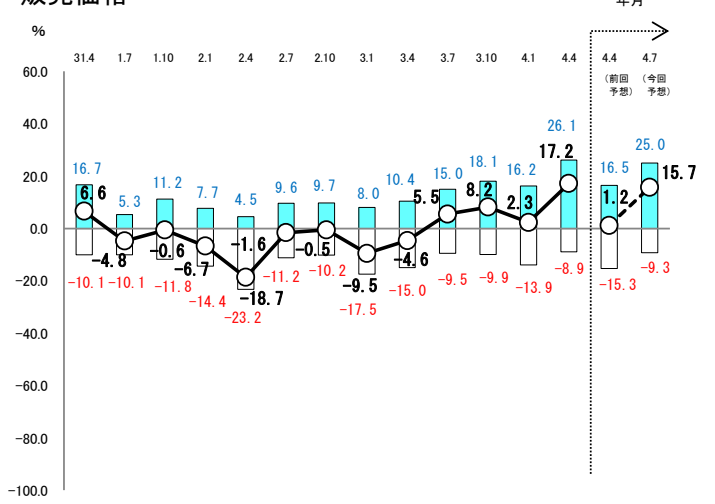
売上高



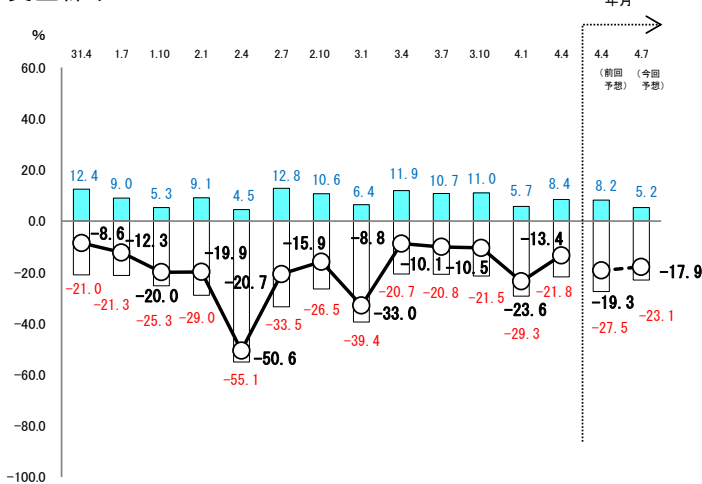
客数 (受注件数・取引先数)



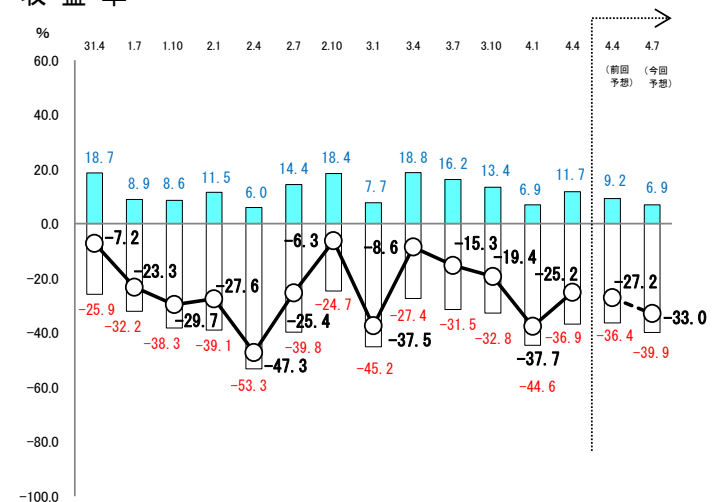
販売価格



資金繰り

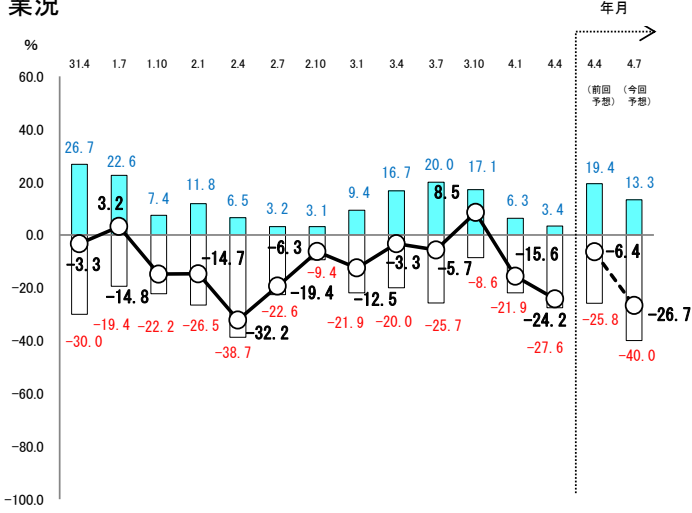


収益率

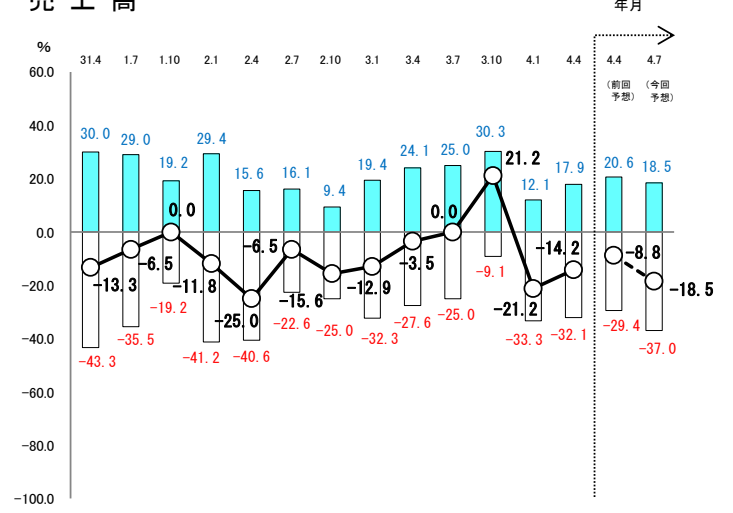


ア 建設業

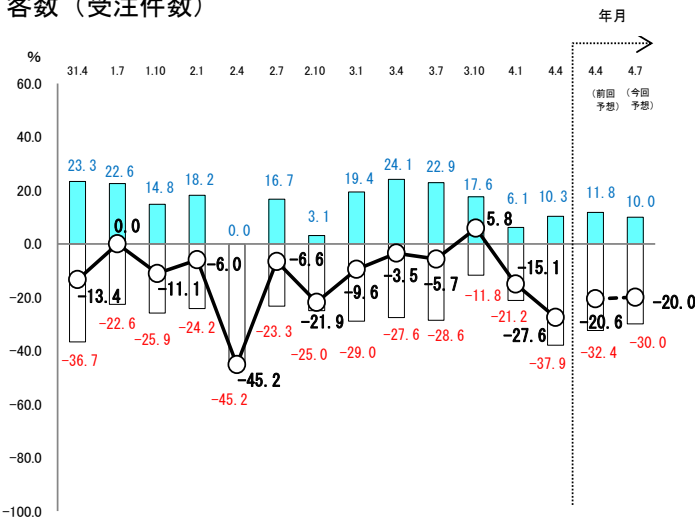
業況



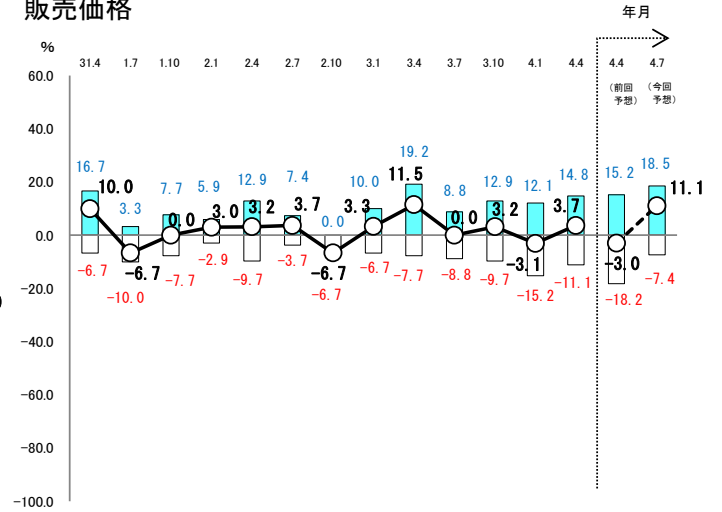
売上高



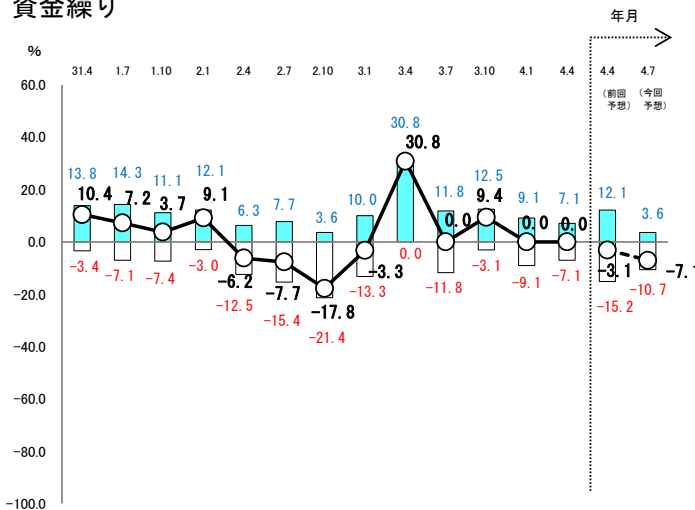
客数 (受注件数)



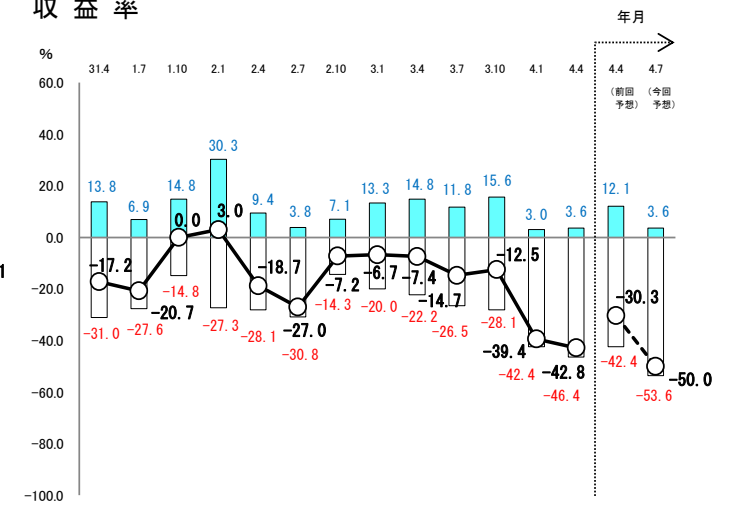
販売価格



資金繰り

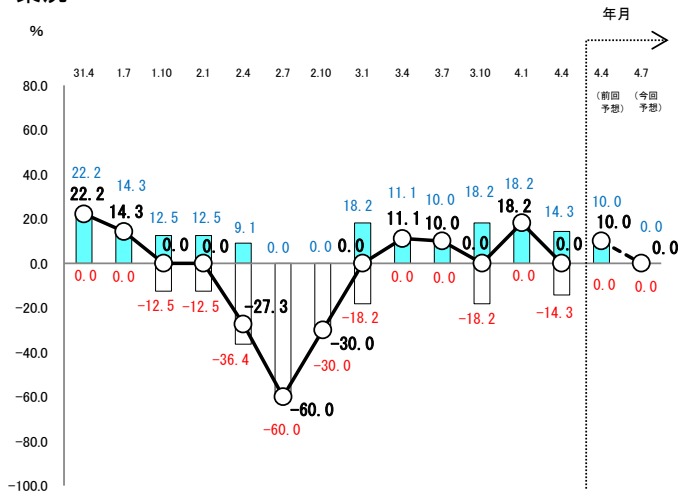


収益率

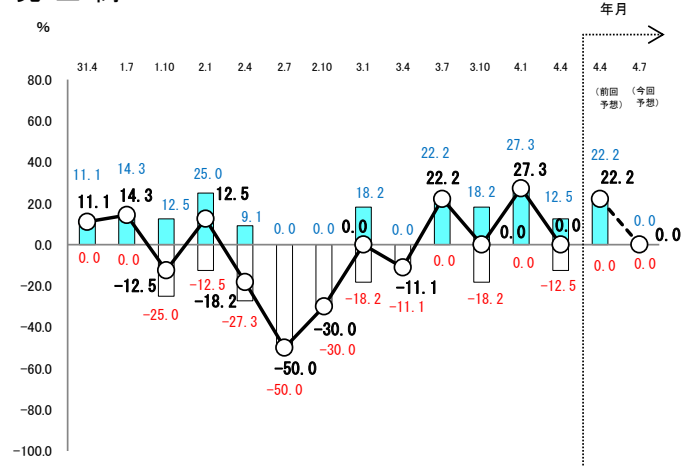


イ 情報サービス業

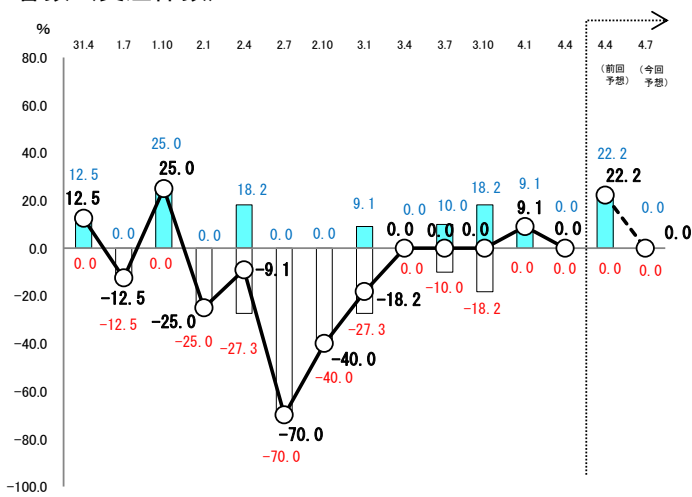
業況



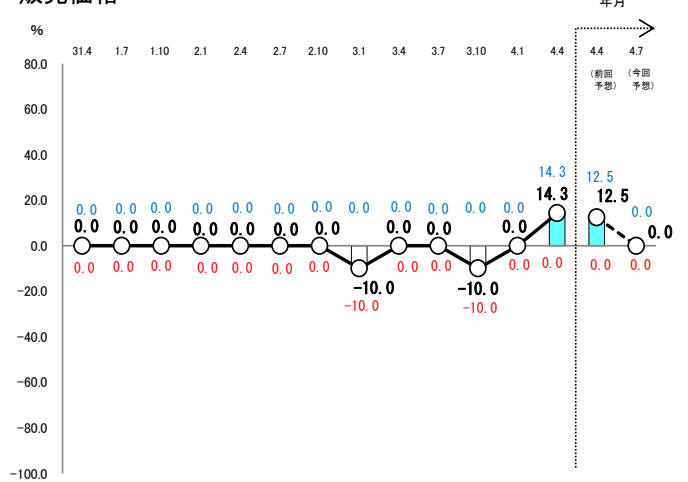
売上高



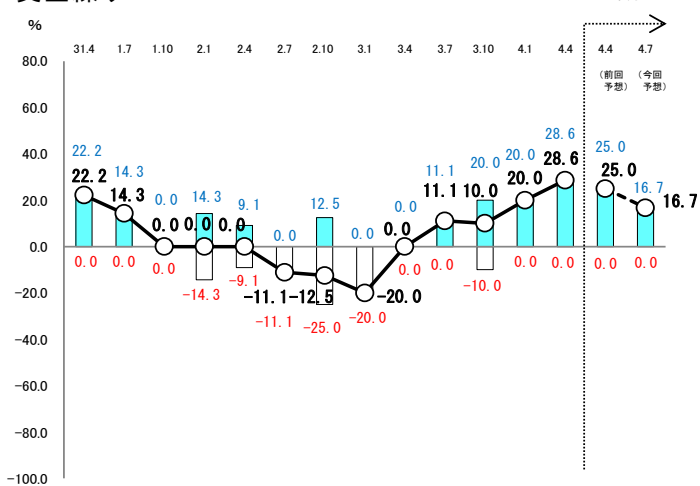
客数 (受注件数)



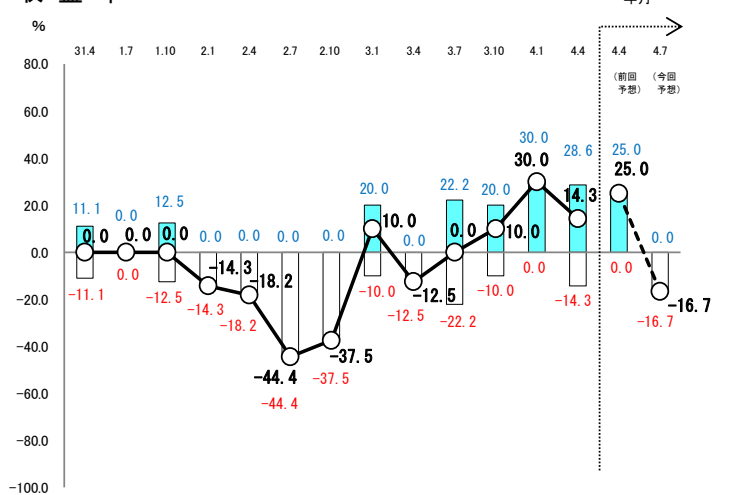
販売価格



資金繰り

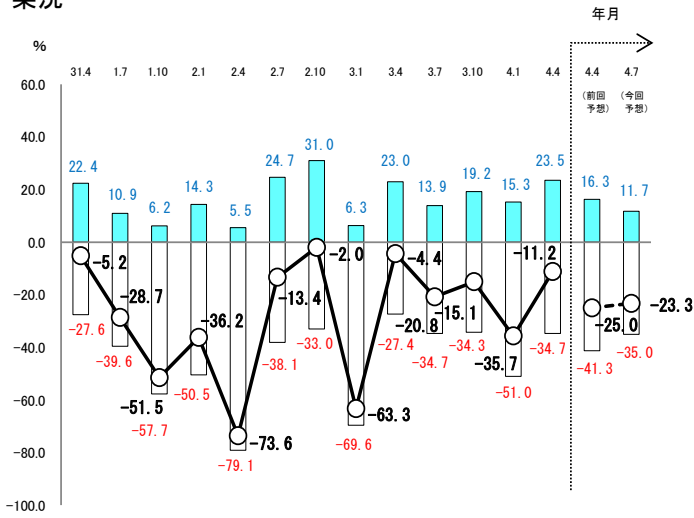


収益率

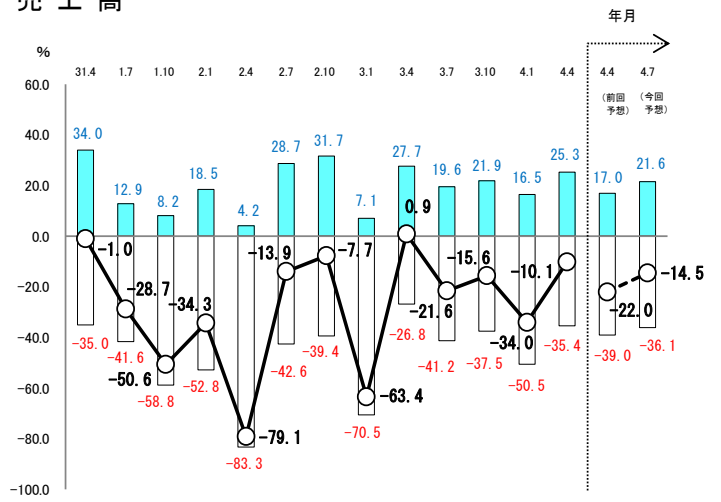


ウ 小売業

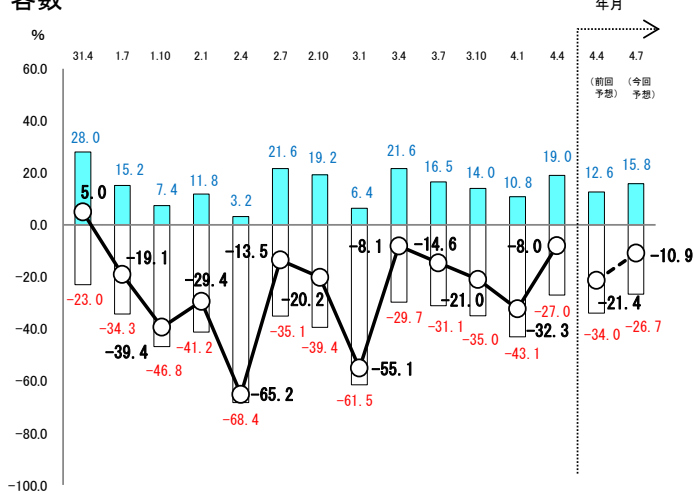
業況



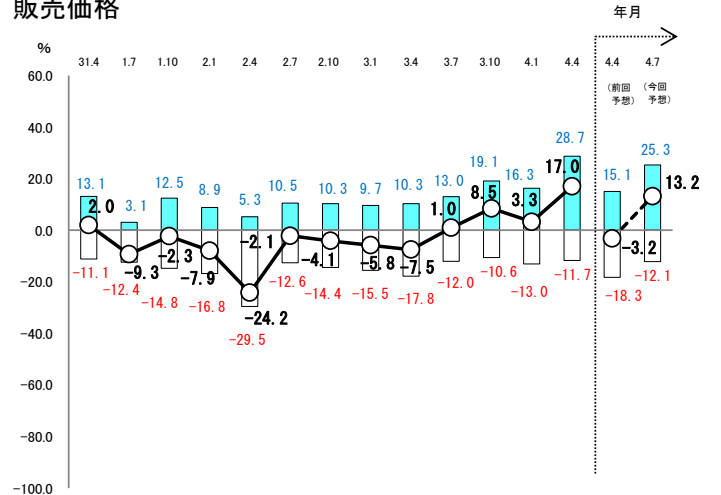
売上高



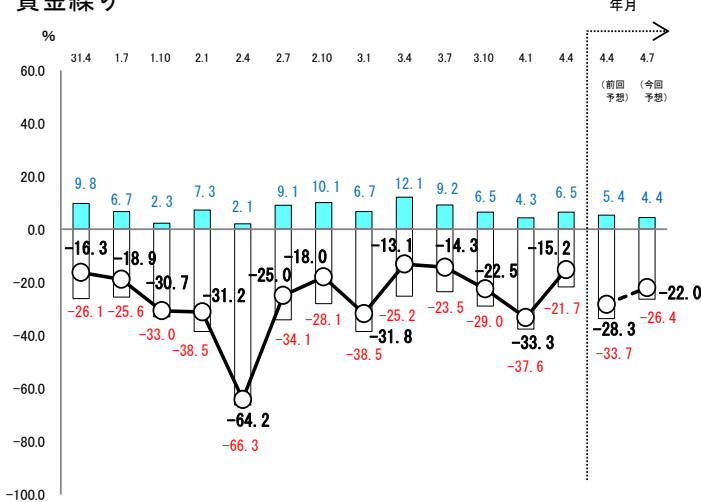
客数



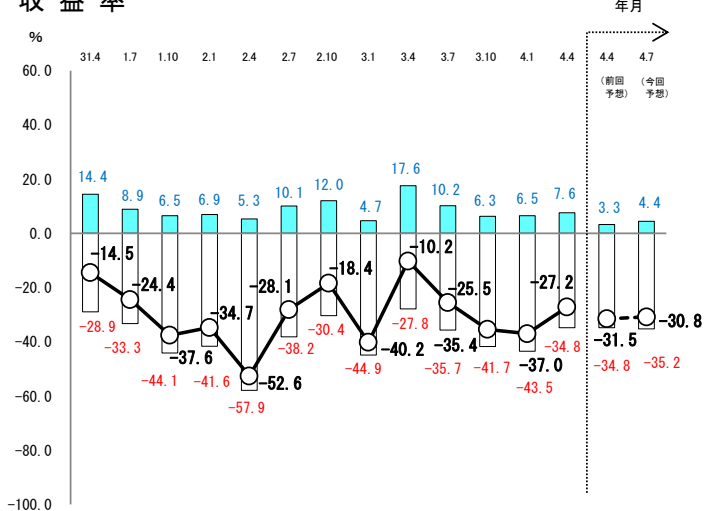
販売価格



資金繰り

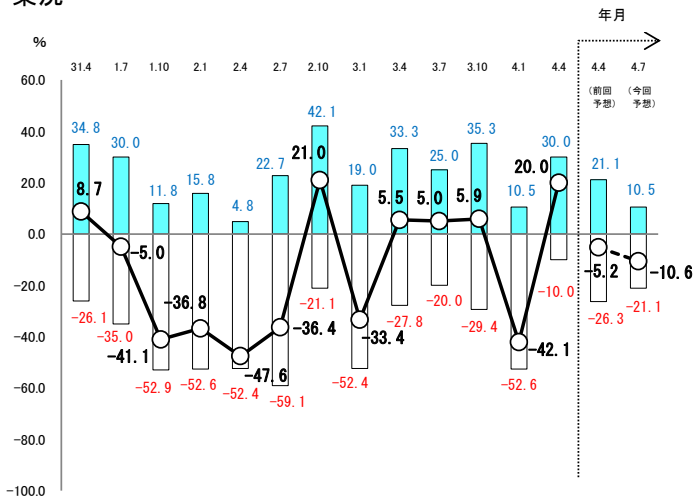


収益率

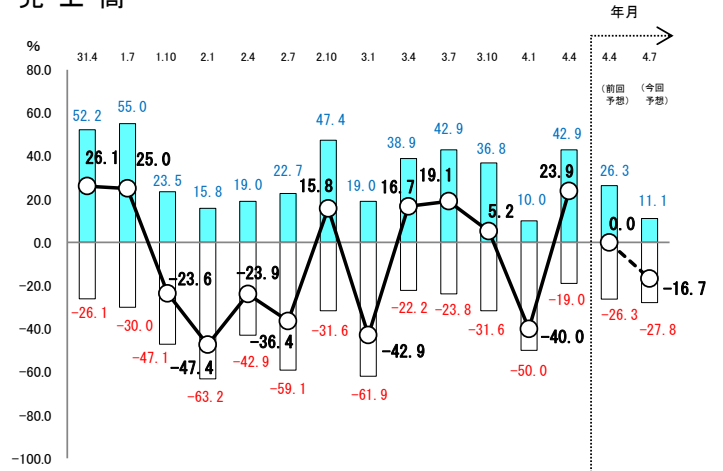


工 卸売業

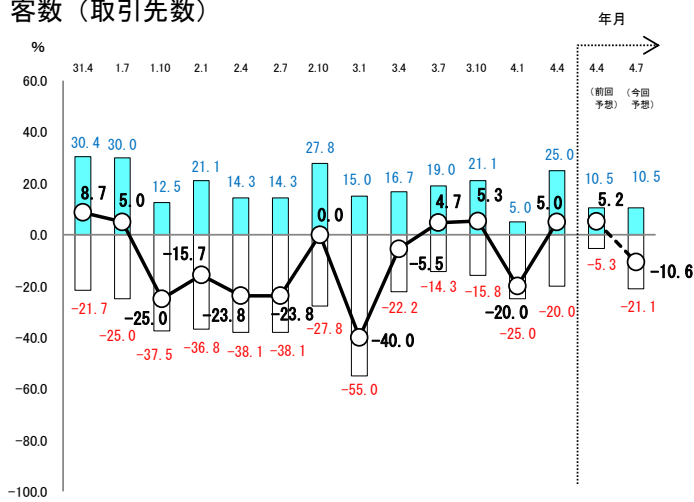
業況



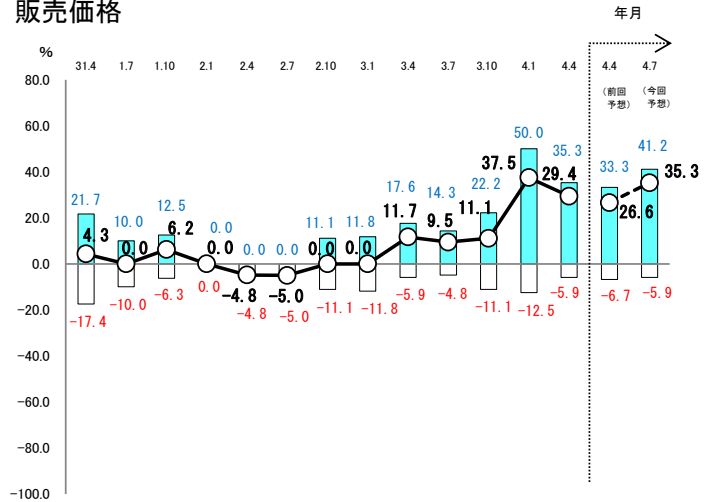
売上高



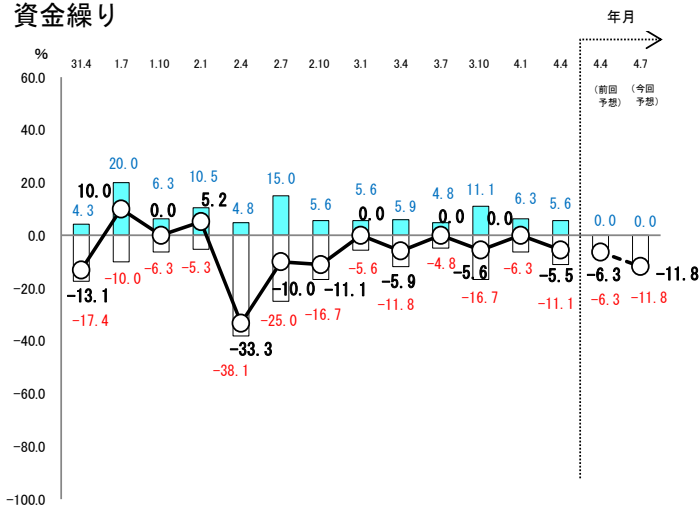
客数 (取引先数)



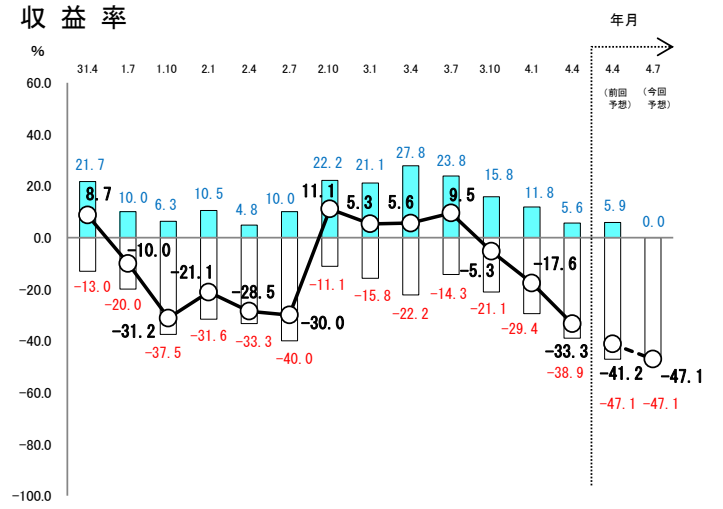
販売価格



資金繰り

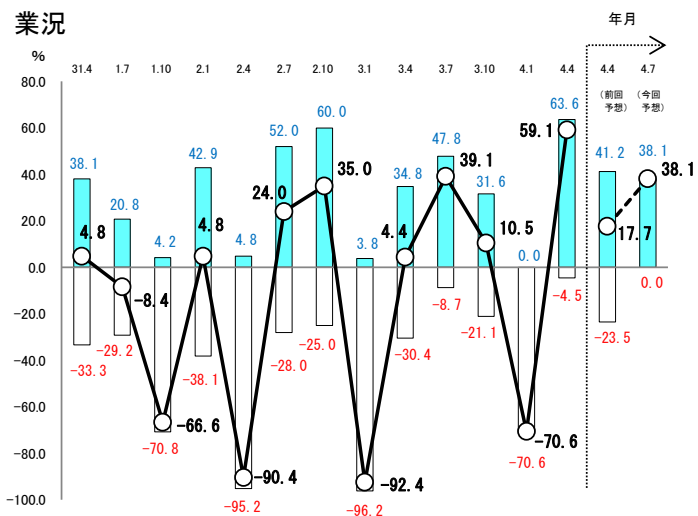


収益率

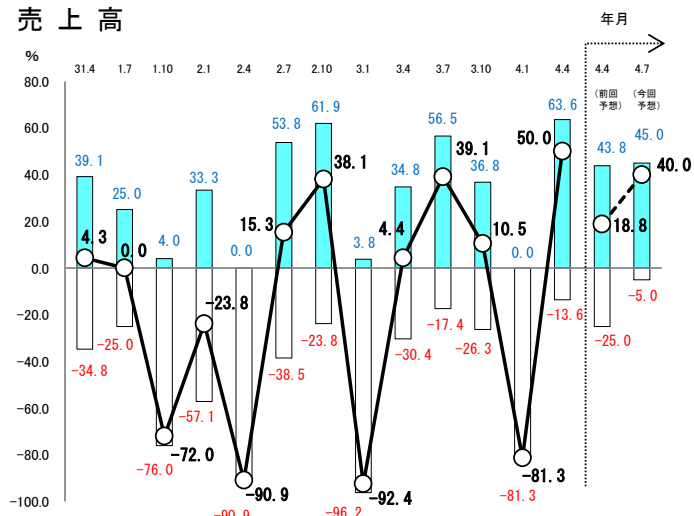


才 飲食業

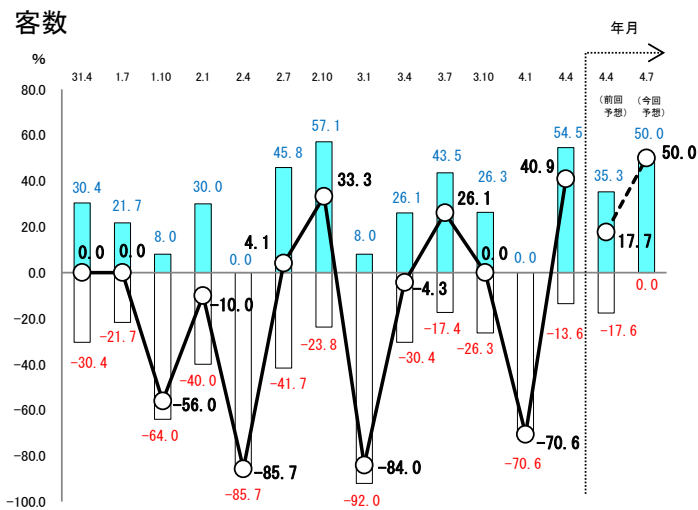
業況



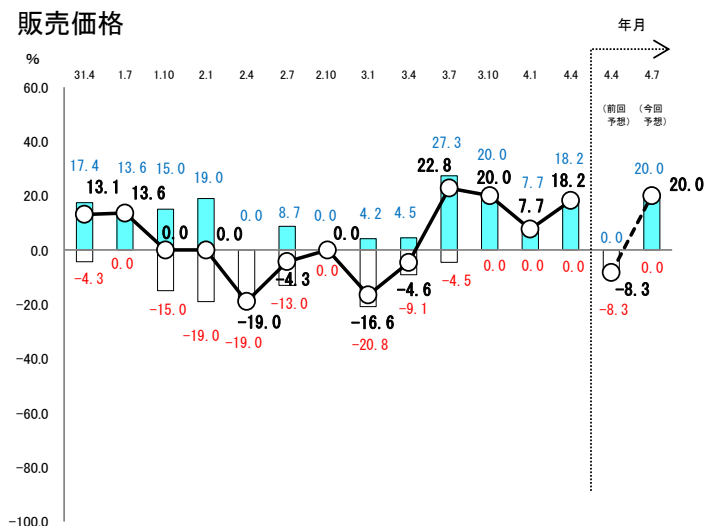
売上高



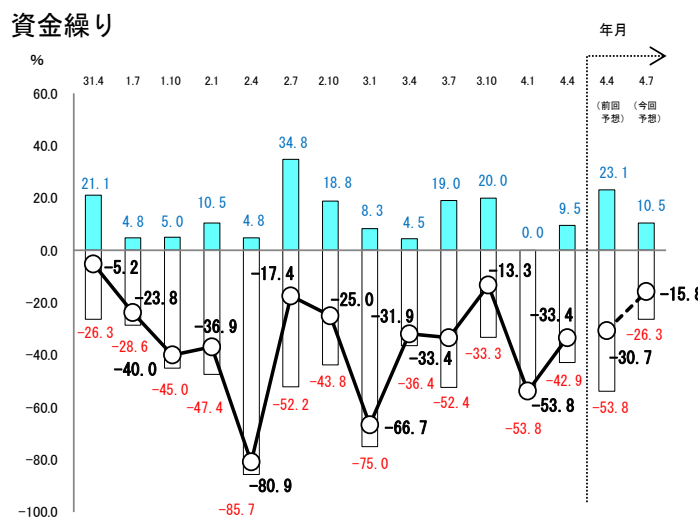
客数



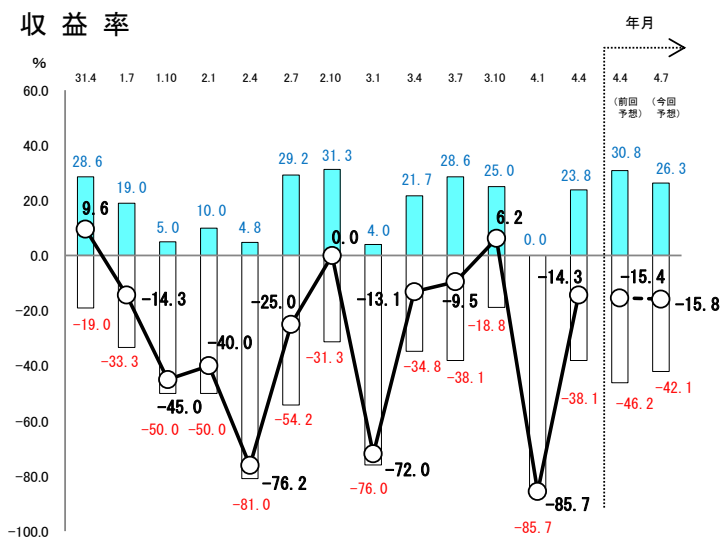
販売価格



資金繰り

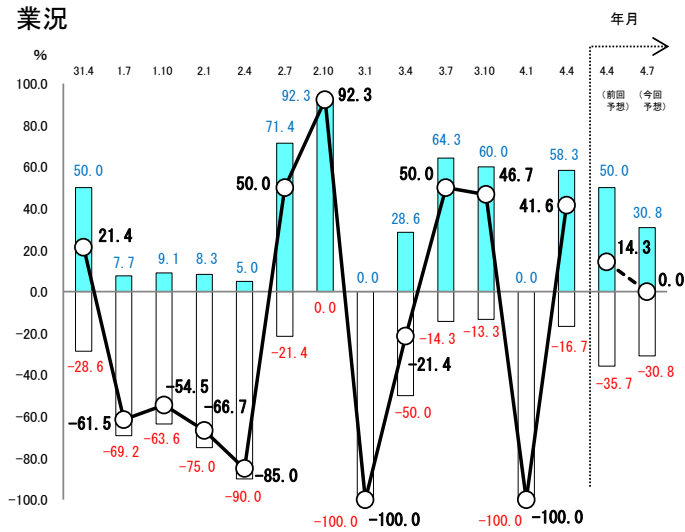


収益率

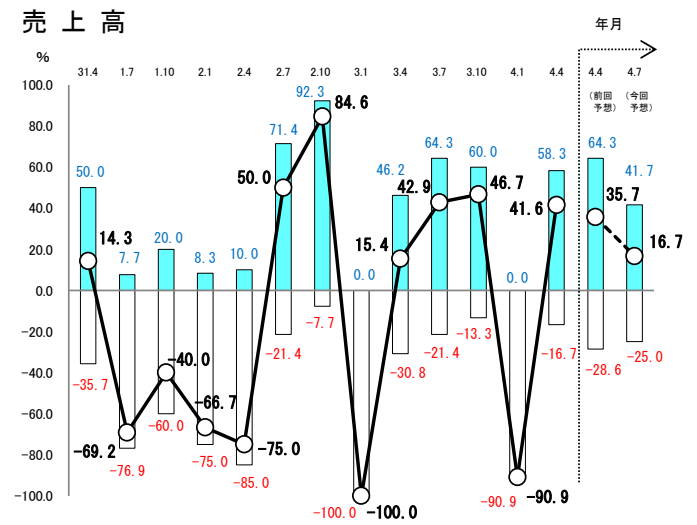


力 宿泊業

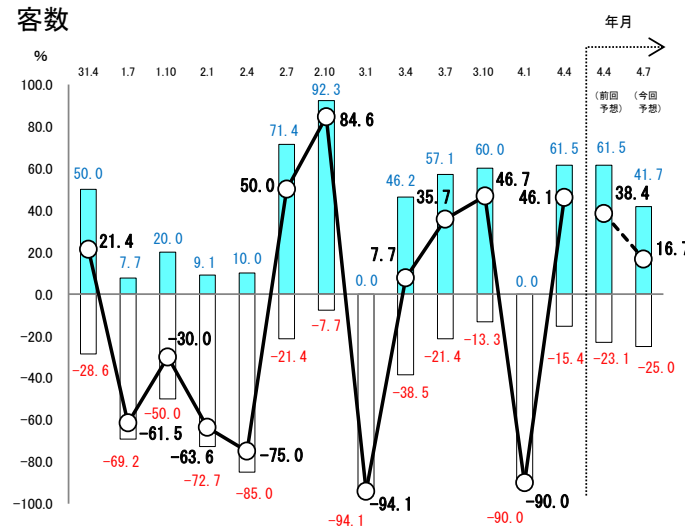
業況



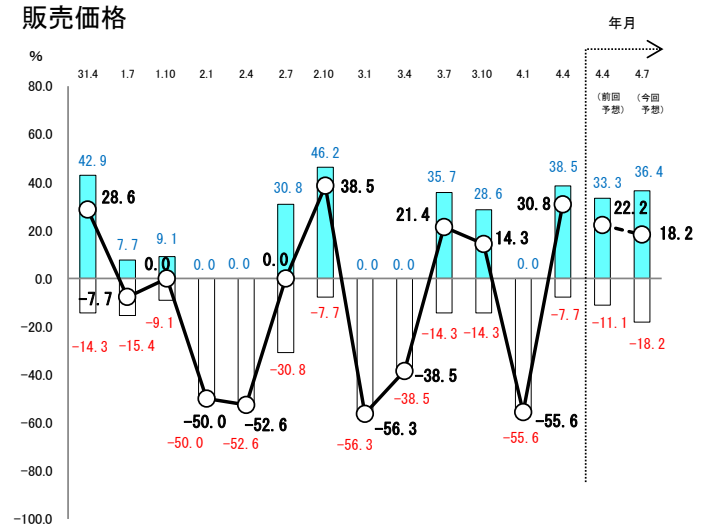
売上高



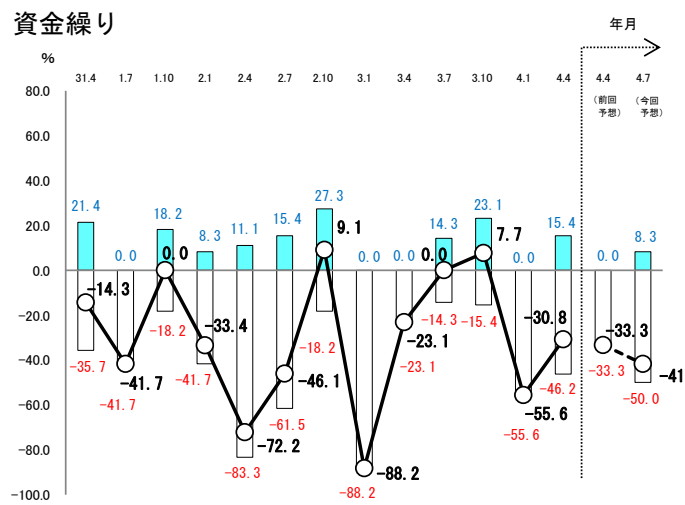
客数



販売価格



資金繰り



収益率

